

6. 図式

目 次

- (1) 栃木県道路台帳図式
- (2) 公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表
- (3) 公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表 応用測量
- (4) 公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表 測量記録

(1) 栃木県道路台帳図式

大分類	分類コード	名称	縮尺	図式	データタイプ				線号	適用	端点一致	備考
					取得方法	図形区分	データ	レコード				

側溝

交通施設	2231	側溝 U字溝無蓋	道路		線	E2	線	3	道路縁に設けられた無蓋のU字溝等をいう。 説明注記「U0.58」		
交通施設	2232	側溝 U字溝有蓋	道路		線	E2	線	3	道路縁に設けられた有蓋のU字溝等をいう。 説明注記「F0.58」		
交通施設	2233	側溝 L字溝	道路		線	E2	線	3	道路縁に設けられたL字溝等をいう。 説明注記「L0.58」		
交通施設		側溝 その他有蓋	道路		線	E2	線	3	道路縁に設けられた有蓋のその他の側溝をいう。 説明注記「P0.58」		
交通施設	2234	側溝地下部	道路		線	E2	線	3	道路縁に接しないU字溝等の地下部をいう。 説明注記 例「F0.58」		

舗装区分

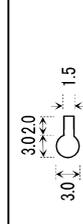
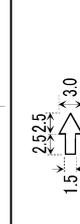
台帳図式		舗装界	道路		線	E2	線	2	アスファルト系高級 アスファルト系簡易 コンクリート 石畳・タイル 砂 防じん インターロックング 車道 A 歩道 車道 B 歩道 車道 C 歩道 車道 P 歩道 車道 T 歩道 車道 G 歩道 車道 E 歩道 車道 I 歩道		
------	--	-----	----	--	---	----	---	---	---	--	--

防護施設

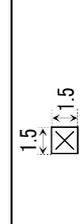
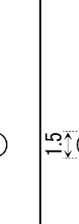
交通施設	2228	道路の雪覆い等 ・ロックエンエット ・スノーエンエット ・カルバート	一般道路 河川		面	E1	面	3	雪崩又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいう 説明注記 ロック スノー カル		
------	------	---	------------	--	---	----	---	---	--	--	--

大分類	分類コード	名称	縮尺	図式	データタイプ				線号	適用	備考
					取得方法	図形区分	データ	レコード			

起終点・線形・縦断勾配

台帳図式		起点	道路		表示位置の点と方向を取得	方向	E6	有	3		
台帳図式		終点	道路		表示位置の点と方向を取得	方向	E6	有	3		
台帳図式		道路中心線	道路		始点から終点方向に取得	線 点	E2 E6		3 3	注記 中心点番号	
台帳図式		曲線半径	道路		中心線の進行方向に対して直角に取得	線	E2		3	注記 半径	
台帳図式		クロソイド	道路		中心線の進行方向に対して直角に取得	線	E2		3	注記 パラメータ— 半径	
台帳図式		縦断勾配	道路		勾配の傾きを表示	線 点	E2 E6		3 3	注記 勾配 距離	

道路敷地

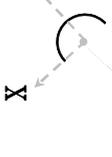
小物体	4211	官民境界杭	(道路) (河川)		位置の点情報を取得	点	E5		3	公有地と私有地を区別するために設置された杭をいう。	
台帳図式		仮境界杭	道路		位置の点情報を取得	点	E6		4		
台帳図式		貸付境界杭	道路		位置の点情報を取得	点	E6		4	国有林内の貸付区域の境界	
台帳図式		区域線	道路		道路の区域線を取得	線	E2		3	境界杭を結線して入力する	
台帳図式		仮区域線	道路		道路の区域線を取得	線	E2		3	境界杭を結線して入力する	

(2) 公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表

図式の見方

大分類	分類コード	地図情報レベル		図式	データタイプ		線	用途	備考									
		レイヤ	項目		取得方法	図形区分				レコード番号	属性数値							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑳

番号		項目		説明		備考																		
①	大分類																							
②	分類																							
③	レイヤ																							
④	データ項目																							
⑤	名称																							
⑥	500																							
⑦	1000																							
⑧	2500																							
⑨	5000																							
⑩	図式																							
⑪	データタイプ	取得方法	<p>各図形に対する取得方法を示す。 ・線データで矢印(→)があるものは、入力方向が有ることを示す(⑮の方向の欄に"有"があるもの)。 ・記号は傾き0°で表示。 ・点データで傾きのあるもの(⑮の方向の欄に"有"があるもの)は、Y軸が方向を示す。</p> <p>例)</p> <p>へい(6340)の場合</p>  <p>この場合、入力方向に対して右側にへいの記号が出力時に発生することを表す。</p> <p>坑口(4219)の場合</p>  <p>1点目記号挿入位置</p> <p>2点目方向点</p>																					
⑫	図形区分	<p>数値地形データフォーマットの図形区分に準ずる。</p> <table border="1"> <tr> <th>コード</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>00</td> <td>非区分 (下記に該当しない全データ)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>射影部の上端</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>射影部の下端</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>高欄</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>橋脚</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>道路橋、鉄道橋</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>ガードレール</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>ガードパイプ 防護さく</td> </tr> </table>	コード	内容	00	非区分 (下記に該当しない全データ)	11	射影部の上端	12	射影部の下端	21	高欄	22	橋脚	23	道路橋、鉄道橋	26	ガードレール	27	ガードパイプ 防護さく				
コード	内容																							
00	非区分 (下記に該当しない全データ)																							
11	射影部の上端																							
12	射影部の下端																							
21	高欄																							
22	橋脚																							
23	道路橋、鉄道橋																							
26	ガードレール																							
27	ガードパイプ 防護さく																							

図式の見方

大分類	分類コード	地図情報レベル		名称	⑥	⑦	⑧	⑨	図式		データタイプ				⑬	⑭	⑮	⑯	備考	
		レイヤ	項目目次						取得方法	図形区分	データタイプ	レコード方向	属性数値	線号						適用
⑫		500	1000	2500	5000	図形区分				31	中陸線	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯			
		32	棟線																	
		33	割線																	
		34	階付																	
		35	外階段																	
		36	ポーチ・ひさし																	
		46	へい																	
		47	輸送管																	
		51	裏面																	
		52	水面																	
		61	直線																	
		62	円弧																	
63	クローン																			
64	その他の緩和曲線																			
71	石杭																			
72	コンクリート杭																			
73	合成樹脂杭																			
74	不銹鋼工杭																			
75	その他の境界標杭																			
76	境界計算法																			
99	表現補助データ																			
⑬						データ			データのタイプを示す(⑩で示すレコードタイプ[E1~E8、G、T]を日本語で説明したもの)。											
⑭						レコード				データタイプ										
		E1	面線																	
		E2	線																	
		E3	円																	
		E4	円弧																	
		E5	点																	
		E6	方向																	
		E7	注記																	
		E8	属性																	
		G	クワッド																	
T	不整三角網																			
⑮	データタイプ					方向			道路橋やへい、被覆など、入力方向があるものや、DMデータフォーマットのレコードタイプの傾きを持つ記号(点)に、「有」がついている。											
⑯						属性数値			高さや階数などの属性を持つものは、「有」がついている。											
⑰						線号			入力する線の線号(太さ)を示す。線号:1号は、0.05mm。											
⑱						適用			作業規程の準則(公共測量標準図式)に準ずる。											
⑲						端点一致			連続線同士の間隔が一致することを示す。											
⑳						備考			補足等が記入されている。											

境界等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	適用	備考	
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
境界等	01	都府県界	一般	道路		境界の位置と一致する。	線	E2		6	<p>地方自治法に定める行政区画等の様をいう。異なる境界記号が重複する部分の優先順位は分類コードの小さい順とし、関係市町村で確定されていない境界は表示しない。</p> <p>1.異なる境界記号が重複する部分の優先順位は、図式分類コードの小さい順とする。</p> <p>2.境界記号は、原則として境界の真位置と記号の中心線とが一致するように表示する。</p> <p>3.関係市町村で確定されていない境界は表示しない。</p> <p>4.大字・町（丁）界は、東京都の区、市町村及び指定都市の区内で区域が明確なものを表示する。</p> <p>5.境界記号上には、注記、建物記号、小物体記号及びやむを得ない場合は境界記号を間断して表示することができる。</p>	○	
			一般	道路									
	02	北海道の支庁界	一般	道路		境界の位置と一致する。	線	E2		6	都道府県界（図式分類コード11-01）の適用を参照。	○	
	03	郡市・東京都の区界	一般	道路		境界の位置と一致する。	線	E2		6	都道府県界（図式分類コード11-01）の適用を参照。	○	
	04	町村・指定都市の区界	一般	道路		境界の位置と一致する。	線	E2		6	都道府県界（図式分類コード11-01）の適用を参照。	○	
	06	大字・町・丁目界	一般	道路		境界の位置と一致する。	線	E2		4	<p>大字界、町界及び丁目界については、区域が明確なものについて表示する。</p> <p>都道府県界（図式分類コード11-01）の適用を参照。</p>	○	
			一般	道路									
	07	小字界	(一般)	(道路)	(河川)		境界の位置と一致する。	線	E2		4	小字界については、区域が明確なものについて表示する。「製品仕様書」による。	○
	10	所屬界	一般	道路	河川		境界の位置と一致する。	線	E2		6	<p>島等で所屬を示す必要がある場合で、それぞれの所屬が読図できる程度に表示する。</p> <p>所屬界は、所屬を示す必要がある場合に、それぞれの所屬が読図できる程度に表示する。</p>	○

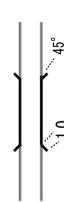
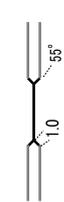
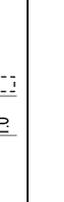
交通施設

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通適用	端点一致	備考			
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ					レコード	方向	属性数値
交通施設	21	レイヤ	01	道路線 (街区線)	一般道路 河川	一般		道路線線を取得	線	E2		3	幅員 (道路線から道路線までの間をいう。) を縮尺化して表示する道路で、地図情報レベル500ではすべての道路、1000では0.5m以上の道路を表示する。 幅員が地図情報レベル2500では1.0m以上、5000では2.0m以上の道路をいう。 2. 市街地において、特に表示する必要がある幅員が 図上0.4mm未満の道路は、0.4mmとして表示する。	道路線とは、道路法第2条第1項に規定された道路にあっては道路構造令に定められた幅員、自転車道、車道、中央帯、路肩、又は縁石等と構成される道路の部分で最も外側の線 (構造物を除いた道路の最も外側の線をいう。) を道路法第2条第1項に規定する以外の道路にあってはこれに準ずる線をいう。				
								02	軽車道	一般		中心線を取得	線	E2		6	軽車道とは、幅員1.0m以上、2.0m未満の道路をいい、長さか図上1.0cm未満のものは省略することができる。	縁や高梁、あるいは狭小路や敷地入り口等で区画される箇所以外は一要素として作成し、縁や高梁等は座標一致で連続し、狭小路や敷地入り口等は区画区分を決定して座標一致で連続させる。
								03	徒歩道	一般		中心線を取得	線	E2		6	幅員が0.5m未満の道路をいう。土堤上のもは表示しない。 1. 徒歩道とは、幅員1.0m未満の道路をいう。 2. 徒歩道は、長さか図上1.0cm以上で、かつ次の基準のいずれかを満たすものを表示する。ただし土堤上のもは表示しない。 (1) 道路線及び軽車道に接続するもの。 (2) 登山、観光等に利用されるもの。 (3) 神社等主要な地点へ到達するもの。 (4) 耕地の区画等の景観を表現するために必要なもの。	橋や高梁、あるいは狭小路や敷地入り口等で区画される箇所以外は一要素として作成し、縁や高梁等は座標一致で連続し、狭小路や敷地入り口等は区画区分を決定して座標一致で連続させる。
								06	庭園路等	一般		道路線線を取得	線	E2		3	公園内の道路、工場敷地内の道路、墓地内の道路、陸上競技場の競争路、飛行場の滑走路等のような特定の地区内における道路で、幅員が地図情報レベル500で0.5m以上、1000では1.0m以上のものを表示する。 庭園路とは、公園、住宅地等で自動車の通行を抑制している道路及び工場等特定の敷地内の道路をいい、幅員が地図情報レベル2500では1.0m以上、5000では2.0m以上のものを表示する。	橋や高梁、あるいは狭小路や敷地入り口等で区画される箇所以外は一要素として作成し、縁や高梁等は座標一致で連続し、狭小路や敷地入り口等は区画区分を決定して座標一致で連続させる。
								07	トンネル内の道路	一般		道路線線を取得 (終端は、断面として閉じない)	線	E2		3	道路の地下部をいい、その経路 (道路線) を表示する。	

交通施設

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通適用	端点一致	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ					レコード
道路	21	09	建設中の道路	一般道路 河川			道路線路を取得 (線端は、原則として閉じない)					3	現在建設中の道路をいい、道路敷の外縁を表示し、路線のおおむね中央又は端部部分に(建設中)の説明注記を添えて表示する。測図完了時までに開通見込みのものは完了時の道路で表示する。			
				一般道路 河川			線	E2				1. 建設中の道路とは、現地調査時に建設中であって、完成までに1年以上を要する道路線をいう。 2. 建設中の道路は、その道路敷の外縁を表示し、工事区間の中央部または末端に、(建設中)の説明注記(図式分類コード81-81)を添えて表示する。 3. 建設中の道路が、道路線及び軌道と交差する場合 は建設中の道路を間断して表示する。 4. 建設中の道路に接続する建設中の橋は、建設中の道路記号で表示する。ただし、完成しているものと び1年以内に完成見込みのものは、道路橋の記号 で表示する。	○			
交通施設	22	03	道路橋 (高架部)	一般道路 河川			線橋を取得 高欄外周を取得(納線点座標一致)		21	面	E1		鉄・コンクリート製の橋をいう。 高欄・橋脚部分は真形を表示する。	○		
				一般			橋脚 観柱	22	線	E2			3	1. 道路橋 (高架部を含む)は、地図情報レベル2500において、橋桁部の長さか2.5m以上で幅員が1.0m以上、5000においては、橋桁部の長さか5.0m以上で幅員が2.0m以上のものを正射影で表示する。 2. 橋の幅員が第1項に定める大きさまるものは、徒橋の記号で表示する。 3. 橋の長さが第1項に定める大きさまるものは、橋の記号を省略し道路として表示する。	○	
				一般			線橋を取得 ひ開部は自動発生して表示		23	面	E1					

交通施設

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通適用	端点一致	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ					レコード
交通施設	22	04	木橋	一般	道路	河川		線	E2	有		3	木製の橋をいい、ひ開部は自動発生して表示する。			
				5000	一般	道路	河川		線	E2			6	徒歩橋をいい、ひ開部は自動発生して表示する。		
	05	徒橋	一般	道路	河川		線	E2				6	道路橋（図式分類コード 22-03）の幅員が地図情報レベル2500においては1.0m未満、5000においては2.0m未満のものは、徒橋の記号で表示する。			
			5000	一般	道路	河川		線	E2				6	斜面を通過する道路で、橋柁の一端が斜面に接し、反対側が橋脚になっている部分という。橋脚部分は真形を表示する。		
	06	棧道橋	一般	道路	河川		橋脚 外周を取得	22	線	E2			3	斜面を通過する道路又は鉄道を横断するために構築された歩道橋をいう。		
			5000	一般	道路	河川		外周を取得（始終点座標一致）					3	人、自転車等が道路又は鉄道を横断するために構築された歩道橋をいう。		
	11	横断歩道橋	一般	道路	河川		外周を取得（始終点座標一致）		面	E1			3	道路または鉄道の横断歩道橋は正射影を表示する。		
			5000	一般	道路	河川							3	人、自転車等が道路又は鉄道を横断するために構築された地下道をいい、経路の明確なものを表示する。		
	12	地下横断歩道	一般	道路	河川		外周を取得（始終点座標一致）		面	E1			3	人、自転車等が道路又は鉄道を横断するために構築された地下道をいい、経路の明確なものを表示する。		
			5000	一般	道路	河川							3	人、自転車等が道路又は鉄道を横断するために構築された地下道をいい、経路の明確なものを表示する。		

交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
交通施設	22	歩道	一般	道	河川		車道との界線を取得	線	E2		3	<p>道路線で歩道を有する部分は、歩道の幅員が図上0.6mm以上のものを表示し、その端末は現況により閉塞する。</p>	
								線	E2		2		
交通施設	14	石段	一般	道	河川	<p>種小</p>	縁石を取得 (階段部は取得しないで石段の上端・下端は閉じない)	階段線	E2		3	<p>図上の長さがおおむね2.0mm以上のものを表示し、幅員が図上0.5mm以下のものは省略することができる。縦持ち等で鷹箱のない階段状の観覧席等は、これに準じて表示する。</p>	
								階段線	E2		3		
							縁石を取得 (階段部は取得しないで石段の上端・下端は閉じない)	階段線	E2			<p>1. 石段は図上の長さがおおむね2.0mm以上のものを真幅で表示する。ただし、幅員が図上0.5mm以下のものは省略することができる。</p> <p>2. 石段の間隔は、すべて0.5mmとして表示する。</p> <p>3. 縦持ち等で鷹箱のない階段状の観覧席は、石段に準じて表示する。</p>	

交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通称	用途	端点一致	備考
			500	1000	2500		5000	図形区分	データ	レコード					
交通施設	22	15 地下街・地下鉄等出入口	一般	道路	河川		外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	1. 地下街・地下鉄等出入口は外周の正射影を表示し、階段部は、出入口方向から3段表示する。 2. 建物の内部にある地下街・地下鉄等出入口は表示しない。		
							階段線 (入口から3段取得)	線	E2						
交通施設	22	19 道路のトンネル	一般	道路	河川		外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	道路の地下部への出入口をいう。建設中のトンネルは出入口が明確な場合にのみ表示する。		
							階段線 (入口から3段取得)	線	E2						
交通施設	22	19 道路のトンネル	一般	道路	河川		真形 坑口部分の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	1. 道路のトンネルは出入口を坑口 (図式分類コード42-19) の規定を準用して表示し、地下の部を表示は表示しない。 2. 建設中のトンネルは、出入口が明確な場合にのみ表示する。		
							真形 坑口部分の外周を取得	線	E2						
交通施設	22	19 道路のトンネル	一般	道路	河川		種小 中央位置の点と方向を取得	方向	E6	有		6			
							真形 坑口部分の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1						
交通施設	22	19 道路のトンネル	一般	道路	河川		真形 坑口部分の外周を取得	線	E2			6			
							種小 中央位置の点と方向を取得	方向	E6	有					

交通施設

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通 用	備 考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
		21	バス停	一般 道路 河川				位置の点情報を取得 	点	E5			3	道路上あるいは歩道上に設けられたバスの停留所をいう。	
		22	安全地帯	一般 道路 河川				外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	道路上あるいは駅前広場等に設けられた安全地帯 (安全島) をいう。	
		26	分離帯	一般 道路 河川	一般			外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	分離帯とは、道路の分離帯、ロータリーの中央島等をいい、正射影を表示する。	
		27	駒止	一般 道路 河川				中心線を取得 道路幅の線部を取得	線	E2			2	分離帯の幅員が図上0.4mm未満のものは、中心線を一条線で表示する。	
		28	道路の雪覆い等	一般 道路 河川				外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	雪崩又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいう。 道路の雪覆い等とは、雪崩又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいい、長さか図上2.0mm以上のものについて正射影を表示する。	
		31	側溝 U字溝無蓋	道路				線部を取得	線	E2			3	道路線に設けられた無蓋のU字溝等をいう。	
		32	側溝 U字溝有蓋	道路				線部を取得	線	E2			3	道路線に設けられた有蓋のU字溝等をいう。	
		33	側溝 L字溝	道路				線部を取得	線	E2			3	道路線に設けられたL字溝等をいう。	

交通施設

交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通 用	端点一致	備 考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ					レコード
交通施設	22	道路施設	一般 道路 河川	一般		地下道路	線	E2			3	道路線に設けられたU字溝等の地下部をいう。			
						外周取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	道路線に設けられた側溝に付随して設置された雨水等の集水溝をいう。		
						外周取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	植樹保護のコンクリート製の枠または柵をいう。		
						並木の位置の点情報を取得					3	道路等に沿って整然と植樹された樹木等をいう。			
						挿入位置		点	E5		2	1. 並木とは、道路外縁、道路の歩道及び幅員が図上0.4mm以上の分離帯に道路に沿って整然と植樹された樹木をいい、草さが図上1.0mm以上のものについて、各樹木の真位置に表示するのを原則とする。ただし、樹木の間隔が図上3.0mm未満の場合は適宜省略することができる。 2. 歩道 (図式分類コード22-13) の表示を行わない場合は、並木は表示しない。 3. 並木は、道路線、歩道及び分離帯とは重複して表示できる。			
						並木の位置の点情報を取得					3	街路樹、芝地等の植栽をいう。			
		植 樹	一般 道路 河川			挿入位置			点	E5					

交通施設

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通信用	端点一致	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード					方向
交通施設	22	41	道路情報板		道路			脚の位置の点情報と標識の向きを取得		方向	E6	有	3	道路法に規定する道路情報板をいう。種類を示す注記を併記する。			
		42	道路標識 案内		(道路)			脚の位置の点情報と標識の向きを取得		方向	E6	有	3				
		43	道路標識 警戒		(道路)			脚の位置の点情報と標識の向きを取得		方向	E6	有	3	道路管理者が設置する道路標識をいい、案内、警戒及び規制に区分する。「製品仕様書」による。			
		44	道路標識 規制		(道路)			脚の位置の点情報と標識の向きを取得		方向	E6	有	3				
		46	信号灯		道路			ポール位置と信号灯の向きを取得		方向	E6	有	3	専用ポールのある信号灯をいう。			
		47	信号灯 専用ポールのないもの		道路			信号灯の位置と向きを取得		方向	E6	有	3	電柱、横断歩道等に設置されている、専用ポールを持たない信号灯をいう。			
		51	交通量観測所		道路			位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5			3	交通量を常時観測している施設をいう。		
		52	スノーポール		(道路)			位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5			3	積雪時に道路線を確認できるように設置されているポールをいう。「製品仕様書」による。		
		53	カーブミラー		(道路)			位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5			3	交差点又は屈曲路等に設置されている確認鏡のうち公的なものをいう。「製品仕様書」による。		

交通施設

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通	用	備考
				500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ				
交通通施設	55	距離標 (km)	道路	2.0.....1/km		位置の点情報を取得	点	E5			3	起点からの0.1km単位の追距離を示す標識をいう。距離数を適切な位置に併記する。			
						挿入位置	注記	E7							
	56	距離標 (m)	道路	2.0.....0.1/km		位置の点情報を取得	点	E5			3	起点からの0.1km単位の追距離を示す標識をいう。距離数を適切な位置に併記する。			
						挿入位置	注記	E7							
						0.1/km	属性	E8							
61	電話ボックス	一般道路 河川		外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1				3	独立した電話ボックスをいう。				
				位置の点情報を取得	点	E5									
62	郵便ポスト	一般道路 河川		位置の点情報を取得	点	E5					3	独立した郵便ポストをいう。			
				挿入位置	点	E5									
63	火災報知器	一般道路 河川		位置の点情報を取得	点	E5					3	独立した火災報知器をいう。			
				挿入位置	点	E5									

交通施設

大分類	分類コード	名称		地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通 用	端 点 一 致	備 考
		項目	レイヤ	500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				
交通施設	01	普通鉄道		一般 道路 河川		一般		レールを取得する		線	E2		8	○ 鉄道事業法又は軌道法に基づいて運行されている鉄道で、特殊軌道及び索道を除いたものを表示する。工場等における引き込み線、駅構内又は操車場における側線は、本線と同じ記号で表示する。		
								中心線を取得				10				
	02	地下鉄地上部		一般 道路 河川		一般		レールを取得する		線	E2		8	地方公共団体及び東京地下鉄(株)等が管理する地下高速鉄道の路線のうち、軌道が地上部に出ているものをいう。		
								中心線を取得				6				
	03	路面鉄道		一般 道路 河川		一般		レールを取得する		線	E2		8	路面鉄道とは、道路上に線路を敷設した鉄道で、主として路面上から直接乗り降りできる車両が運行される鉄道をいう。		
								中心線を取得				6				
	04	モノレール		一般 道路 河川		一般		レールを取得する		線	E2		8	車両が一本の軌道柵に跨座し、又は懸垂して走行するものをいう。		
								中心線を取得				6				
	05	特殊鉄道		一般 道路 河川		一般		レールを取得する		線	E2		6	特殊軌道は、次の各号に適用する。 (1) モノレール・鋼索鉄道。 (2) 普通鉄道と接続しない工場等特定の地区内の軌道及び採鉱(石)地と工場等を結ぶ専用軌道をいう。 (3) 採鉱(石)地と工場等を結ぶ専用軌道。		
								中心線を取得				6				
												0.3				

交通施設

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通 用	備 考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード
交通施設	23	06	築 道	一般 道路 河川				中心線を取得				3	空中ケーブル、スキューリフト、ベルトコンベヤー及びこれらに類するものをいい、大規模なものは説明注記を添えて表示する。		
								線	E2			2	1. 築道とは空中ケーブル、スキューリフト、ベルトコンベヤー及びこれらに類するものをいい、車さが図上2.0cm以上で恒久的なものを表示する。本規模なもの（スキューリフト）、（ベルトコンベヤー）等の説明注記（図式分類コード81-81）を添えて表示する。 2. 築道で高塔のあるものは、高塔（図式分類コード42-35）を表示する。		
				一般 道路 河川	一般			外面を取得					3	現在建設中の軌道等をいい、測図完了時までに開通見込みのものは、完了時の軌道で表示する。軌道敷の外縁を軌道とし、路線のおおむね中央部又は工事部分の末端に（建設中）の注記を添えて表示する。廃業路線も同様に注記する。	
				一般 道路 河川	一般				線	E2			2	建設中の軌道は、軌道等の施設が現に建設中でその線路が明らかでないものについて、軌道敷の属線を表示し、工事区間の中央部又は端部に（建設中）の説明注記（図式分類コード81-81）を添えて表示する。	
				一般 道路 河川				レールを取得する		線	E2		8	普通鉄道の地下部分をいう。	
				一般 道路 河川				レールを取得する		線	E2		8	地下鉄の地下部分をいう。	
				一般 道路 河川				レールを取得する		線	E2		8	路面鉄道の地下部分をいう。	

交通施設

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通	用	端点一致	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード					
交通施設	23	14	トンネル内の鉄道 モノレール	一般 道路 河川			中心線を取得	線	E2			8	モノレールの地下部分という。				
							レールを取得する	線	E2			6	特殊鉄道の地下部分という。				
	24	01	鉄道橋 (高架部)	一般 道路 河川	一般		橋 線線を取得			有		6	鉄道橋及び鉄道の高架部は、その正射影を表示する。図上の長さ15.0mm以上のものには記号としての半円を付す。				
							橋脚 線線を取得	22	線	E2		3	鉄道橋及び鉄道の高架部は、その正射影を表示する。ただし、鉄道の記号との間隔が狭い場合は、記号の外側に0.2mmの白部をおいて鉄道橋を表示する。				
	24	11	跨線橋	一般 道路 河川	一般		外周を取得 (始終点座標一致)						3	駅構内の鉄道を横断するために構築された橋をいい、跨線橋の正射影を表示する。			
								面	E1								
	12	地下通路	一般 道路 河川			地下通路 線線を取得 (始終点座標一致)					3	乗降客が鉄道を横断するために構築された地下道をいう。					

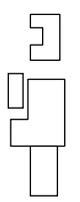
交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通	用	端点一致	備考
			500	1000	2500		5000	図形区分	データ	レコード					
交通施設	24	19 鉄道のトンネル	一般	道路	河川		真形	坑口部分の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		3	<p>普通鉄道及び特殊軌道のトンネルの出入口をいう。建設中のトンネルは出入口が明確な場合に表示する。</p>		
							真形	坑口部分の外周を取得	線	E2					
							種小	中央位置の点と方向を取得	方向	E6	有				
			真形	坑口部分の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		6	<p>1. 普通鉄道及び特殊軌道のトンネルの出入口を坑口(図式分類コード42-19)で表示し、地下の部を表示す線は表示しない。 2. 建設中のトンネルは、出入口が明確な場合に表示する。</p>						
			真形	坑口部分の外周を取得	線	E2									
			種小	中央位置の点と方向を取得	方向	E6	有								
	21	停留所	一般	道路	河川		真形	外周を取得(始終点座標一致)	面	E1		3	<p>1. 停留所とは、路面鉄道の駅をいう。 2. 停留所は、安全島(安全地帯が島状の施設であるもの)がある場合は、その外縁を正射影で表示し、安全島がない(安全地帯が道路横断及び道路表示により明示されたもの)場合は、おおよそ正射影で表示できない場合は、おおよそその位置に種小の記号を表示する。</p>		
							位置	点情報を取得	点	E5					
							真形	外周を取得(始終点座標一致)	面	E1					
			位置	点情報を取得	点	E5									
			真形	外周を取得(始終点座標一致)	面	E1									
			位置	点情報を取得	点	E5									

交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通 用	備 考		
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード	方 向
交通施設	24	プラットホーム	一般	道路	河川		外周を取得 (始終点座標一致)					3	駅構内で乗降用に足場を高くした構造物をいう。		
				一般					面	E1			2	1. プラットホームは、その外周の正射影を表示する。 2. 建物内にあるプラットホームは表示せず、鉄道の記号を建物線に接合させて表示する。 3. プラットホームの上屋は、普通無蓋舎 (図式分類コード30-03) の記号を適用する。	
			一般	道路	河川		外周を取得 (始終点座標一致)						3	プラットホーム上に建造された雨よけ等の屋根をいう。	
			一般	道路	河川		外周を取得 (始終点座標一致)						3	モノレールの橋脚をいう。	
			一般	道路	河川		外周を取得 (始終点座標一致)						3	雪崩又は落石等を防ぐために鉄道の上に設置されたものをいう。	
			一般	道路	河川		外周を取得 (始終点座標一致)						4	鉄道の雪覆い等は、道路の雪覆い等 (図式分類コード22-28) の規定を準用して表示する。	
			一般				外周を取得 (始終点座標一致)								
			一般				外周を取得 (始終点座標一致)								

建物等

大分類	分類コード	分項コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ						線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
建物等	30	01	普通建物	一般 道路 河川				外形 外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	<p>3階未満の建物及び3階以上の木造等で建築された建物という。</p>	<p>ポーチ・ひさし・外付階段は破線 (実線1.0mm、白部0.5mm) とする。</p>
								中座線 外周を取得 (始終点座標一致)	31							
								棟割線	32	線	E2					
								階層線	33							
								外付階段 (線部)	34	面	E1					
								外付階段 (階層線) 階層線間隔 1.0 mm	99	線	E2					
								ポーチ・ひさし	35	面	E1					
								外形 外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1					
								中座線 外周を取得 (始終点座標一致)	31							
								棟割線	32	線	E2					
								階層線	33							

建物等

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ						線号	適用	端点一致	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
建物等	30	02	堅ろう建物	一般 道路 河川				外形 外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1			<p>1. 鉄筋コンクリート等で建築された建物で、地上3階以上又は3階相当以上の高さのものやスタンドを備えた競技場をいう。</p> <p>2. 総括して表示する建物のうち、個々の建物が判別できるものは、その境を6号線の横割線で区画し、景況を表示する。</p> <p>3. 一つの建物で階層が大きく異なる部分がある場合は、その景況を階層線で表示する。</p> <p>4. 競技場は外周線を取得する。競技場の景況に応じて中庭線、右段、庭園路、ひさし等により内部を表示する。</p>		ポーチ・ひさし・外付階段は破線 (実線1.0mm、白部0.5mm) とする。	
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31								
								横割線	32	線	E2						
								階層線	33								
								外付階段 (線部)	34	面	E1						
								外付階段 (階層線) 階層線間隔 1.0 mm	99	線	E2						
								ポーチ・ひさし	35								
								外形 外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1						
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31								
								横割線	32	線	E2						
								階層線	33								

建物等

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
建物等	30	03	普通無壁舎	一般 道路 河川				外形 外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1		3	<p>御壁のない建物、温室及び工場内の建物類の建築物で、3階未満のものをいう。温室は、強固な鋼材等を使用した永続性のある堅固な構造のものを表示する。</p>	ポーチ・ひさし・外付階段は破線 (実線1.0mm、白部0.5mm) とする。
								中座線 外周を取得 (始終点座標一致)	31						
								構割線		線					
								階層線	32						
								外付階段 (線部)	33	面	E1				
								外付階段 (階層線)	34	線	E2				
								ポーチ・ひさし	99	面	E1				
								外周を取得 (始終点座標一致)	35	面	E1				
								中座線 外周を取得 (始終点座標一致)	31						
								構割線		線					
								階層線	32						
											33	線			

建物等

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				
建物等	30	04	堅ろう無壁舎	一般 道路 河川				外形 外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1		6	<p>1. 鉄筋コンクリート等で建築された削壁のない建物及び建築物類似の建築物で、地上3階以上又は3階相当以上の高さのものという。</p> <p>2. 総括して表示する建物のうち、個々の建物が判別できるものは、その境を6号線の横割線で区画し、景況を表示する。</p> <p>3. 一つの建物が明らかに階層の異なる部分で構成される場合は、その景況を階層線で表示する。</p>		ポーチ・ひさし・外付階段は破線 (実線1.0mm、白部0.5mm) とする。
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31							
								横割線		線	E2					
								階層線	32	線	E2					
								外付階段 (線部)	33	面	E1					
								外付階段 (階層線)	34	線	E2					
								ポーチ・ひさし	35	面	E1					
								外形 外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1					
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31							
								横割線		線	E2					
								階層線	32	線	E2					

建物等

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
34 建物に付属する構造物等	01	レイアウト	門	一般	1000	2500	5000		門柱の外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1			石、コンクリート、れんが等でできた堅ろうな門柱を有するもので、特に構造の大きなものをいう。冠木門を含む。
				一般	1000	2500	5000		門柱の外周を取得 (始終点座標一致)		方向	E6	有		
	02	屋門	一般	1000	2500	5000		建物の中の道路線線を取得		面	E1			建築物の一部が道路に供されているものをいう。	
			一般	1000	2500	5000		建物の中の道路線線を取得		方向	E6	有			屋門は、神社・仏閣等における規模の大きなものについて、普通建築物(図式分類コード30-01)の記号の内部に、道路に相当する部分の真幅を表示する。
03	たたき	一般	1000	2500	5000		外周を取得 (始終点座標一致)		線	E2			ガソリンスタンド等、広範囲をコンクリート等で覆われたものをいう。		
		一般	1000	2500	5000		外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1				人工の遊泳施設をいう。ただし、屋内のものは除く。	
04			プール	一般	1000	2500	5000		説明注記 図部に対して平行垂直入力		面	E1			

建物等

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	取得方法	データタイプ				線号	適用	備考
				500	1000	2500			5000	属性数値	方向	レコード			
建物等	35	03	官公署	一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 	E5	点		4	外国公館及び大規模な官公署については、注記で表示するの原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は、小規模な官公署で特に記号がないものは、官公署の記号で表示する。		
				一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 							
				一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 							
				一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 							
				一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 							
				一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 							
	35	04	裁判所	一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 	E5	点		4	裁判所（同支部を含む）は注記で表示するの原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は、記号で表示する。		
				一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 							
				一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 							
				一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 							
				一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 							
				一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 							
35	05	検察庁	一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 	E5	点		4	検察庁（同支部を含む）は注記で表示するの原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は、記号で表示する。			
			一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 								
			一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 								
			一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 								
			一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 								
			一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 								

建物等

大分類	分類コード	項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	用途	端点一致	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				
建物等	35	レイヤ	11	測候所	一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	測候所をいう。地方気象台等は注記とする。		
					一般	道路	河川									
			12	地方整備局事務所	一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	国の機関（公団を含む）における地方整備局事務所等をいう。		
					一般	道路	河川									
			13	出張所	一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	国の機関（公団を含む）における工事事務所等の出張所をいう。		
					一般	道路	河川									
			14	警察署	一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	警察署をいう。		
					一般	道路	河川									
			15	交番	一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	交番とは、警察法による交番その他の派出所及び駐在所をいう。記号を原則とする。		
					一般	道路	河川									

建物等

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
35	16	消防署	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5			4	<p>1. 消防署及びその出張所等消防器具を装備し消防署員が常駐する施設は、注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。</p> <p>2. 消防分回等で施設が大きいものは記号で表示する。</p>		
							記号の表示位置の点情報を取得								
							記号の表示位置の点情報を取得								
							記号の表示位置の点情報を取得								
35	17	職業安定所（ハローワーク）	一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5			4	<p>職業安定所（ハローワーク）は、注記で表示するのを原則とする。ただし、同出張所及び市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。</p>			
						記号の表示位置の点情報を取得									
						記号の表示位置の点情報を取得									
						記号の表示位置の点情報を取得									
35	18	土木事務所	一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5			4	<p>地方公共団体における土木事務所、工営所等をいう。</p>			
						記号の表示位置の点情報を取得									
						記号の表示位置の点情報を取得									
						記号の表示位置の点情報を取得									
35	19	役場支所及び出張所	一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5			4	<p>市・特別区・町・村及び指定都市の区の役場、支所及び出張所をいう。</p>	<p>市・特別区・町・村・指定都市の区の役場支所及び出張所は記号で表示する。</p>		
						記号の表示位置の点情報を取得									
						記号の表示位置の点情報を取得									
						記号の表示位置の点情報を取得									

建物等

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	取得方法	データタイプ					線号	用途	端点一致	備考
				500	1000	2500			5000	図形区分	データ	レコード	方向				
建物等	35	21	神社	一般道路	一般道路	一般道路	一般道路	 記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5			4				
				一般道路	一般道路	一般道路	 記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置										
				一般道路	一般道路	一般道路											
建物等	35	22	寺院	一般道路	一般道路	一般道路	一般道路	 記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5			4				
				一般道路	一般道路	一般道路											
				一般道路	一般道路	一般道路											
建物等	35	23	キリスト教会	一般道路	一般道路	一般道路	一般道路	 記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5			4				
				一般道路	一般道路	一般道路											
				一般道路	一般道路	一般道路											

神社・寺院・キリスト教会およびその他神道教会（教団等に類する教会で規模の大きなものを含む。）は、注記で表示するのを原則とする。ただし、小規模なものは記号で表示する。

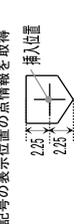
建物等

大分類	分類コード	分類コード 項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考												
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード					方向	属性数値										
建物等	24	学校	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5	挿入位置	4	<p>学校は、学校教育法による学校（幼稚園、各種学校は除く）について注記で表示するのを原則とする。 ただし、狭小で注記を表示することが困難な場合は市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。</p>															
																25	幼稚園・保育園	一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5	挿入位置	4	<p>幼稚園・保育園は、注記で表示するのを原則とする。ただし、神社、寺院、教団等に併設されたものは記号で表示することができない。</p>		

建物等

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	用途	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
建物等	35	27	博物館	一般道路				記号の表示位置の点情報を取得					4	一般の利用に供されている博物館をいう。		
				一般道路				博	挿入位置							
				一般道路	一般道路		博									
				一般道路			博									
				一般道路			博									
建物等	35	28	図書館	一般道路				記号の表示位置の点情報を取得					4	一般の利用に供されている図書館をいう。		
				一般道路				図	挿入位置							
				一般道路	一般道路		図									
				一般道路			図									
				一般道路			図									
建物等	35	29	美術館	一般道路				記号の表示位置の点情報を取得					4	一般の利用に供されている美術館をいう。		
				一般道路				美	挿入位置							
				一般道路	一般道路		美									
				一般道路			美									
				一般道路			美									
建物等	35	30	老人ホーム	一般道路				記号の表示位置の点情報を取得					4	1. 老人ホームは老人福祉法の老人福祉の老人福祉のうち養護老人ホーム、特別養護老人ホーム及び軽老人ホームをいう。 2. 規模の大きな老人ホームは、注記で表示することを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。		
				一般道路				老人ホーム	挿入位置							
				一般道路	一般道路		老人ホーム									
				一般道路			老人ホーム									
				一般道路			老人ホーム									
建物等	35	31	保健所	一般道路				記号の表示位置の点情報を取得					4	保健所は、注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。		
				一般道路				保	挿入位置							
				一般道路	一般道路		保									
				一般道路			保									
				一般道路			保									

建物等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ					線号	用途	端点一致	備考	
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値
建物等	32	病院	一般 道路 河川			記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置					4	1. 病院とは、医務法に基づき病院、診療所の大きい診療所をいう。 2. 医務法に基づき診療所及び診療所の大きい診療所は、注記で表示することを原則とする。 3. 町域において市街地帯において重要な地物を抹消するおそれがある場合及び規模の大きい診療所は記号で表示する。			
			一般 道路 河川			記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置									
				一般											
建物等	34	銀行	一般 道路 河川			記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置						4	銀行は、銀行（支店を含む）及び信用金庫に適用し、記号で表示することを原則とする。ただし、規模が大きく特に必要と認められるものは注記で表示することができる。		
			一般 道路 河川			記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置									
				一般											
建物等	36	協同組合	一般 道路 河川			記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置						4	協同組合（農業協同組合、漁業協同組合、林業協同組合及び酪農協同組合）をいう。		
			一般 道路 河川			記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置								協同組合（農業協同組合、漁業協同組合、林業協同組合及び酪農協同組合）は注記で表示することを原則とする。ただし、支所・出張所は記号で表示する。	
				一般											

建物等

大分類	分類コード	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	取得方法	データタイプ					線号	適用	備考			
				500	1000	2500			5000	図形区分	データ	レコード	方向				属性数値		
建物等	35	39	デパート	一般				記号の表示位置の点情報を取得 	点	E5			4	デパート（スーパーマーケットを含む）をいう。					
				一般	一般											記号の表示位置の点情報を取得 			
				一般	一般												記号の表示位置の点情報を取得 		
				一般	一般													記号の表示位置の点情報を取得 	
				一般	一般														記号の表示位置の点情報を取得
				一般	一般														
		一般	一般			記号の表示位置の点情報を取得													
		一般	一般				記号の表示位置の点情報を取得 												
		一般	一般					工場をいう。											
		一般	一般						工場は、注記で表示するのを原則とする。ただし、小規模なものは記号で表示する。										
		一般	一般							工場をいう。									
		一般	一般								工場は、注記で表示するのを原則とする。ただし、小規模なものは記号で表示する。								

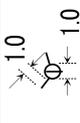
建物等

大分類	分類コード	項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	用途	備考			
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値	
35	49	発電所	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般 道路 河川		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	発電所をいう。					
								挿入位置										
								記号の表示位置の点情報を取得	点			4	図上の送電線に接続しない小規模なものは、記号で表示する。変電所の鉄骨部分は、その外周を送電線の記号で囲んで表示する。					
								挿入位置										
35	50	変電所	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点				4	1. 変電所は、注記で表示するのを原則とする。ただし、図上の送電線に接続しない小規模なものは、記号で表示する。 2. 変電所の鉄骨部分は、その外周を送電線の記号で囲んで表示する。					
							挿入位置											
							記号の表示位置の点情報を取得	点										
							挿入位置											
35	52	浄水場	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点				4	浄水場をいう。					
							挿入位置											
							記号の表示位置の点情報を取得	点										
							挿入位置											
35	53	揚水機場	河川	河川	河川		記号の表示位置の点情報を取得	点				4	揚水機場は、農業用及び工業用等のために設けられたものをいい、特に規模の大きなものは、注記で表示する。					
							挿入位置											
							記号の表示位置の点情報を取得	点										
							挿入位置											

建物等

大分類	分類コード	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
35	56	揚・排水機場	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5			4	揚・排水機場は、農業用及び工業用等のために設けられたものをいい、特に規模の大きなものは、注記で表示する。		
							記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置								
							記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置								
							記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置								
57	排水機場	河川	河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5			4	排水機場は、農業用及び工業用等のために設けられたものをいい、特に規模の大きなものは、注記で表示する。			
						記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置									
59	公衆便所	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5			4	公共のために供することを目的に作られたものをいう。			
						記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置									
60	ガソリンスタンド	一般 道路 河川	一般	一般		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5			4	ガソリンスタンド（ガソリンスタンド等を含む）をいう。			
						記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置								ガソリンスタンド（ガソリンスタンド等を含む）をいう。	

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通 用	備 考
			500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ	レコード			
小 公 共 施 設	レイヤ	01	マンホール (未分類)	一般 道路	河川		蓋の外周を取得 (始終点座標一致)	面円	E1 E3	有	3	共同溝、ガス、電気、電話、下水、上水以外のマンホール及び分岐の必要のない場合用いる。直径がおおむね60cm以上のものを表示する。		
								点	E5					
	11	マンホール (共同溝)	一般 道路	河川		蓋の外周を取得 (始終点座標一致)	面円	E1 E3	有	3	共同溝のマンホールをいう。直径がおおむね60cm以上のものを表示する。			
							点	E5						極小 点位置情報を取得 挿入位置
	19	有線柱	一般 道路	河川		柱の位置と架線の方向を取得	点	E5 E6	有	3	電話柱、電力柱を除く有線柱をいう。			
							方向							架線が無い場合は点で取得
	21	マンホール (ガス)	一般 道路	河川		蓋の外周を取得 (始終点座標一致)	面円	E1 E3	有	3	ガス施設のマンホールをいう。直径がおおむね60cm以上のものを表示する。			
点							E5	極小 点位置情報を取得 挿入位置						
31	マンホール (電話)	一般 道路	河川		蓋の外周を取得 (始終点座標一致)	面円	E1 E3	有	3	電話施設のマンホールをいう。直径がおおむね60cm以上のものを表示する。				
						点	E5						極小 点位置情報を取得 挿入位置	
32	電話柱	一般 道路	河川		柱の位置と架線の方向を取得	点	E5 E6	有	3	電話線を支える柱をいう。				
						方向							架線が無い場合は点で取得	

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通 用	備 考		
			500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ	レコード				方向	属性数値
小 公 共 施 設	41	マンホール(電気)	一般 道路 河川				蓋の外周を取得(始終点座標一致)		面円	E1 E3			3	電力施設のマンホールをいう。直径がおおむね60cm以上のものを表示する。		
							極小 点位置情報を取得		点	E5						
		電力柱	一般 道路 河川				柱の位置と架線の方向を取得		架線が無い場合は点で取得	点 方向	E5 E6	有		3	電力線を支える柱をいい、電話線が架設されているものを含む。	
							蓋の外周を取得(始終点座標一致)		面円	E1 E3						
		マンホール(下水)	一般 道路 河川				蓋の外周を取得(始終点座標一致)		極小 点位置情報を取得	点	E5			3	下水道施設のマンホールをいう。直径がおおむね60cm以上のものを表示する。	
蓋の外周を取得(始終点座標一致)							面円	E1 E3								
マンホール(水道)	一般 道路 河川				蓋の外周を取得(始終点座標一致)		極小 点位置情報を取得	点	E5			3	上水道施設のマンホールをいう。直径がおおむね60cm以上のものを表示する。			
					蓋の外周を取得(始終点座標一致)		面円	E1 E3								

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データベース					線号	適用	備考
			500	1000/2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
その他小物体	レイヤ	01 墓碑	一般 道路 河川				<p>台座があるものは、台座の外周を取得 (始終点座標一致)</p> <p>記号の表示位置の点情報を取得</p>	面	E1			3	<p>独立して1個又は数個が存在し、墓地として表示できない場合に表示する。</p> <p>1. 墓碑は、独立して1個又は数個が存在し、墓地として表示できない場合に表示する。 2. 短辺が図上2.0mm以上の台石を有するものは、台石の正射影を人工斜面(図式分類コード61-01)又は被覆(図式分類コード61-10)等の記号を適用して表示し、該当する位置に記号を表示する。 3. 数個がまとまって存在する場合は、主要なものを表示するか又はその中央に表示する。 4. 墓碑が建物内にあり、その建物の大きさが図上0.5mm以上の場合は、建物として表示し、当該記号は表示しない。ただし、建物に側壁がなく、主体が墓碑の場合は、当該記号で表示する。 5. 記号の真位置は、記号下辺の影を除いた中央とする。</p>	
その他小物体	レイヤ	42	一般 道路 河川				<p>台座があるものは、台座の外周を取得 (始終点座標一致)</p> <p>記号の表示位置の点情報を取得</p>	面	E1			3	<p>記念碑のうち主要なものをいう。</p> <p>1. 記念碑は、規模が大きなものを表示する。 2. 短辺が図上2.0mm以上の台石を有するものは、台石の正射影を人工斜面(図式分類コード61-01)又は被覆(図式分類コード61-10)等の記号を適用して表示し、該当する位置に記号を表示する。 3. 数個がまとまって存在する場合は、主要なものを表示するか又はその中央に表示する。 4. 記念碑が建物内にあり、その建物の大きさが図上0.5mm以上の場合は、建物として表示し、当該記号は表示しない。ただし、建物に側壁がなく、主体が記念碑の場合は、当該記号で表示する。 5. 記号の真位置は、記号下辺の影を除いた中央とする。</p>	

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	備考
			500	1000/2500	5000		図形区分	取得方法	データ	レコード	方向		
小物体	その他小物体	立像	一般 道路 河川				台座があるものは、台座の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	銅像、石像等で主要なものという。
							記号の表示位置の点情報を取得	点	E5				
		路傍祠	一般 道路 河川				台座があるものは、台座の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	特に著名なもの又は好目標となるものという。
							記号の表示位置の点情報を取得	点	E5				

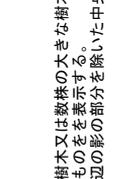
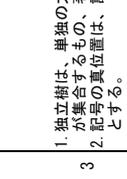
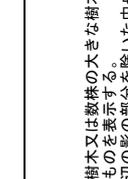
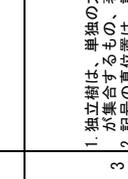
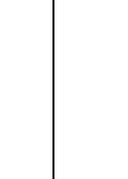
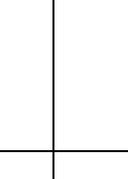
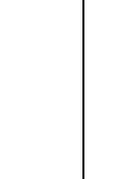
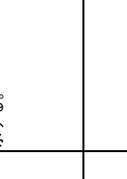
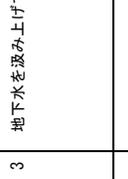
小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通用	備考	
			500	1000/2500	5000		図形区分	取得方法	データ	レコード				方向
その他小物体	レイヤ	05 灯ろう	一般 道路 河川			<p>0.5 1.0</p>	取得方法は、台座の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	灯ろうのうち主要なものをいう。	
						<p>0.3 0.6</p>	取得方法は、台座の外周を取得 (始終点座標一致)	点	E5	有	1. 灯ろうは、規模が大きく主要なものについて、基部の中心と記号の中心とを一致させて表示する。 2. 灯ろうが連続して存在する場合は、適宜省略して表示することができる。			
						<p>1.0 2.0</p>	取得方法は、台座の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		3	狢のうち主要なものをいう。		
その他小物体	レイヤ	06 狢	一般 道路 河川			<p>0.5 1.5 極小</p>	取得方法は、脚の外周を取得 横線は、射影の中心線を取得	線	E2			3	神社の参道等に建造されている門状の建造物をいう。	
						<p>0.3 0.7 極小</p>	取得方法は、脚の外周を取得 横線は、射影の中心線を取得	方向	E6	有	1. 鳥居は、脚の位置を主柱の位置とし、正射影の方向に一致させて表示する。ただし、極小の記号に満たないものは、極小の記号で表示する。 2. 鳥居が連続して存在する場合は、適宜省略して表示することができる。			
						<p>0.3 1.0 極小</p>	取得方法は、脚の外周を取得 横線は、射影の中心線を取得	線	E2		3			
その他小物体	レイヤ	07 鳥居	一般 道路 河川			<p>0.3 0.5 極小</p>	取得方法は、脚の外周を取得 横線は、射影の中心線を取得	方向	E6	有				

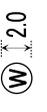
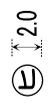
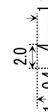
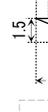
小物体

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通 用	備 考			
				500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ	レコード				方向	属性数値	
小物体	42	レイヤ	名	官民境界杭	(道路) (河川)	2.0		位置の点情報を取得	点	E5			3	公有地と私有地を区別するために設置された杭をいう。「製品仕様書」による。				
								挿入位置	点	E5			3			消防用に設置された水連続のうち平面状のものをいう。		
								位置の点情報を取得	点	E5			3					
				消火栓 立型	(道路) (河川)	2.0		位置の点情報を取得	点	E5				3		消火栓のうち地上に突出した形状のものをいう。		
								挿入位置	点	E5			3					
				地下換気孔	一般 道路 河川	2.0		位置の点情報を取得	点	E5				3		地下通路（地下鉄を含む）の換気用に設けられた換気口をいう。		
								真形 外周を取得（始終点座標一致）	面	E1			3					
				坑	口	一般 道路 河川	1.5		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5					3	1. 坑口は、坑口の入口及び河川が地下に出入する部分に表示する。ただし、一条河川が通路又は鉄道と交差する部分における坑口の記号は表示しない。 2. 坑口の記号は、正射影を表示する。ただし、正射影の幅が図上1.5mm未満の場合は、極小の記号を正射影の方向と一致させて6号線に表示する。	
									真形 坑口部分の外周を取得	面	E1			3				
									真形 坑口部分の外周を取得	線	E2			3				
									極小 中央位置の点と方向を取得	方向	E6	有		3				
									真形 坑口部分の外周を取得	面	E1			3				
									真形 坑口部分の外周を取得	線	E2			3				
				その他小物体								極小 中央位置の点と方向を取得	方向	E6		有	6	
												真形 坑口部分の外周を取得	面	E1				6
												真形 坑口部分の外周を取得	線	E2				6

小物体

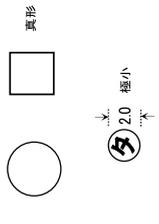
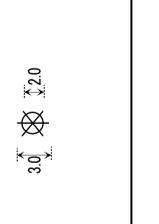
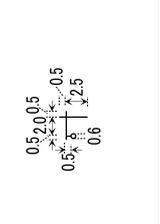
大分類	分類コード	分類レイヤ	項目目次	名称	地図情報レベル		図式	データベース				線号	用途	備考
					500	1000/2500/5000		取得方法	図形区分	データ	レコード			
その他小物体	42		21	独立樹 (広葉樹)	一般	道路		点	E5			3	1. 独立樹は、単独の大きな樹木又は数株の大きな樹木が集合するもの、著名なものを含いた中央 2. 記号の真位置は、記号下辺の影の部分を除いた中央とする。	
					一般	道								
			22	独立樹 (針葉樹)	一般	道路		点	E5			3	1. 独立樹は、単独の大きな樹木又は数株の大きな樹木が集合するもの、著名なものを含いた中央 2. 記号の真位置は、記号下辺の影の部分を除いた中央とする。	
					一般	道								
			23	噴水	一般	道路		面	E1			3	観音用に水を噴出させる設備をいう。射影形の中央に表示する。	
					一般	道								
24	井戸	一般	道路		面	E1			3	地下水を汲み上げて利用するための施設をいう。				
		一般	道											
25	油井・ガス井	一般	道路		面	E1			3	現在採取中のもので、目標となる施設を有するものをいう。				
		一般	道									油井・ガス井は、現に採取中のものを表示する。		

小物体

大分類	小分類	レイヤ	分類コード	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	用途	端点一致	備考				
						500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード					方向	属性数値		
小物体	その他			26	貯水槽	一般 道路 河川			真形 構築物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	水を利用するために蓄えた貯水槽をいう。						
									極小 記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置		点	E5										
									真形 構築物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)		面	E1							3	肥料を蓄えるために建造されたものをいう。		
									極小 記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置		点	E5										
真形 構築物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	常設されたものをいう。															
極小 記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置		点	E5																			
真形 構築物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)		面	E1							3	常設されたものをいう。											
極小 記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置		点	E5																			

1. 起重機は、常設され規模の大きいものを表示する。ただし、多数集まっているものについては、景況を表現するよう適宜省略する。その移動範囲の中央に記号を表示し、その範囲が図上おおむね2.0cm以上のものは、移動範囲に区境界（図式分類コード02-01）の記号を適用する。

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	用途	備考							
			500	1000	2500		5000	図形区分	データ	レコード	方向				属性数値						
その他小物体	レイヤ	タンク	一般 道路 河川			真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)	E1 E3	面 円	E1 E3	方 向		3	水、油、ガス、飼料等を貯蔵するために地上に設置されたタンクをいう。								
															31	極小 記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	E5	点			
42	極小 記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	E5	点																		
							その他小物体	レイヤ	給水塔	一般 道路 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	E1	面	E1		3	塔の上に水槽を設置したものをいう。		
32	記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	E5	点																		
																					33
42	記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	E5	点																		
							その他小物体	レイヤ	火の見	一般 道路 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	E1	面	E1		3	火の見槽及び簡易火の見（棒状）をいう。		
33	記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	E5	点																		
																					42

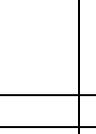
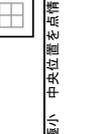
小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通用	備考
			500	1000/2500	5000		図形区分	取得方法	データ	レコード	方向			
小物体	42	煙突	一般 道路 河川			<p>真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)</p> <p>記号表示位置を点情報で取得 挿入位置</p>	面	E1			3	<p>規模が大きく目録となるものをいう。</p> <p>1. 煙突は、規模が大きなものについて表示する。 2. 煙突が建物と離れて単独に存在し、その基部の大きさが図上1.0mm以上のものは、基部の正射影を描き、その中央に記号を表示する。</p>		
														点
	36	電波塔	一般 道路 河川			<p>真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)</p> <p>記号表示位置を点情報で取得 挿入位置</p>	面	E1			3	<p>テレビ、ラジオ、無線電信等の送受信を目的に構築されたものをいう。</p> <p>1. 電波塔は、テレビ、ラジオ、無線電信等の送受信を目的に構築されたものを表示する。 2. 基部の大きさが図上1.2mm以上のものは、基部の正射影に高塔（図式分類コード42-35）の記号を適用し、その中央に電波塔の記号を表示する。</p>		
														点
	42	高塔	一般 道路 河川			<p>真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)</p> <p>ティック部は自動発生して表示する。 記号</p> <p>AX L-->y</p>	面	E1	E3		有	3	<p>特に高くそびえている工作物のうち、教会の鐘楼、展望台等記号が定められていないものをいう。</p> <p>1. 高塔は、特に高くそびえている工作物のうち、送電線の鉄塔、教会の鐘楼、展望台、独立した給水塔等記号が定められないものを表示する。 2. 高塔は、基部の正射影を表示する。ただし、図上1.0mm未満の場合は、極小の記号を図郭下辺に平行に表示する。</p>	
42	その他													

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通適用	備考			
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード	方向	属性数値
その他の小物体	レイヤ	照明灯	一般道路	道路			記号表示位置を点情報で取得 	点	E5			3	照明用のために作られたものをいう。			
			一般道路	道路			記号表示位置を点情報で取得 	点	E5			3	街路等に設置された専用柱を持つものをいう。			
	レイヤ	防犯灯	一般道路	道路			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	記号表示位置を点情報で取得 	面	E1			3	風車は、発電を目的に構築されたものをいう。		
			一般道路 河川	河川			記号表示位置を点情報で取得 	点	E5				3	1. 風車は、発電を目的に構築されたものを表示する。 2. 基部の大きさが図上2.0mm以上のものは、基部の正射影を表示し、記号の中心と灯台の中心とを一致させて表示する。 3. 航空用灯台は、記号に(空)の説明注記(図式分類コードD81-81)を添えて表示する。		
	レイヤ	灯台	一般道路	河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	記号表示位置を点情報で取得 	面	E1				3	航路標識のうち、灯台をいい、灯火装置のある部分を表す。	
			一般道路 河川	河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	記号表示位置を点情報で取得 	点	E5				3	1. 灯台は原則としてすべて表示する。 2. 基部の大きさが図上3.0mm以上の場合は、基部の正射影を表示し、記号の中心と灯台の中心とを一致させて表示する。 3. 航空用灯台は、記号に(空)の説明注記(図式分類コードD81-81)を添えて表示する。	
	レイヤ	航空灯台	一般道路	河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	記号表示位置を点情報で取得 	面	E1				3	航空機が位置の確認等を行えるように一定の信号電波を発する施設をいう。	
			一般道路 河川	河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	記号表示位置を点情報で取得 	点	E5				3	航空機が位置の確認等を行えるように一定の信号電波を発する施設をいう。	

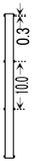
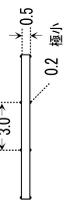
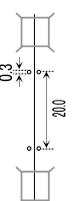
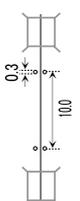
小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通 用	備 考
			500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ	レコード			
小物体	43	灯 標	一般 道路 河川				真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	灯標は、航路標識のうち、灯標、灯柱及び導標について、固定された規模の大きなものを表示する。	
	45	へりポート	一般 道路 河川		一般		真形 標識線の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E3			3	へりポートの離着陸のための施設で、常設のものをいう。	
42	51	水位観測所	道路 河川		一般		真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	水位観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。	1. 水位観測所は、主要なものを記号で表示し、ポール等の置水標は表示しない。 2. 験潮所(場)は注記で表示する。
42	52	流量観測所	道路 河川		一般		真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	流量観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。	

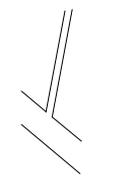
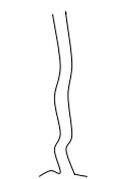
小物体

大分類	分類コード	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
その他小物体	42	53	雨量観測所	道路 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1				3	雨量観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。	
							極小 中央位置を点情報で取得 (挿入位置)	点	E5						
		54	水質観測所	道路 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1				3	水質観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。	
							極小 中央位置を点情報で取得 (挿入位置)	点	E5						
		55	波浪観測所	一般 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1				3	波浪観測所をいい、注記を原則とする。	
							極小 中央位置を点情報で取得 (挿入位置)	点	E5						
56	風向・風速観測所	一般 道路 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1				3	風向・風速観測所をいい、注記を原則とする。			
					極小 中央位置を点情報で取得 (挿入位置)	点	E5								
61	輸送管 (地上)	一般			外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1				3	水、油、ガス、ガソリン等を輸送する管で目標になるものをいう。大規模な輸送管はその内容によって(水)、(油)等の注記を添えて表示する。	<ol style="list-style-type: none"> 輸送管は、水、油、ガス、ガソリン等を輸送するものでその直径が50cm以上、長さが図上おおむね20mm以上のものを地上及び空間(地上1.0m以上を標準とする)に区分して表示する。ただし、この基準に満たないものであっても、重要なものについては表示することができる。 輸送管は、正射影の方向に一致させて表示する。 大規模な輸送管は、その内容物によって(水)又は(油)等の説明注記(図式分類コード81-81)を添えて表示する。 輸送管の地下の部は表示しない。 		

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通 用	端 点 一 致	備 考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード					方 向
その他 小物体	レイヤ	輸送管 (空間)	一般	道路	河川		外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1	有		3	地上1.0 m以上の高さに設置された輸送管をいう。		
							補助記号は自動発生して表示									
							中心線を取得	47	線	E2						
							補助記号は自動発生して表示									
その他 小物体	レイヤ	輸送管 (空間)	一般	道路	河川		外周を取得 (始終点座標一致)						2	1. 輸送管は、水、油、ガス、ガソリン等を輸送するものでその直径が50cm以上、長さが図上おおむね20mm以上のものを地上及び空間 (地上1.0m以上を標準とする) に区分して表示する。ただし、この基準を満たさないものであっても、重要なものについては表示することができる。 2. 輸送管は、正射影の方向に一致させて表示する。 3. 大規模な輸送管は、その内容物によって (水) 又は (油) 等の説明注記 (図式分類コード81-81) を添えて表示する。 4. 輸送管の地下の部は表示しない。		
							補助記号は自動発生して表示									
							中心線を取得 (鉄橋間で区切らず連続データとする)									
							補助記号は自動発生して表示									
その他 小物体	レイヤ	送電線	一般	道路	河川		中心線を取得 (鉄橋間で区切らず連続データとする)		線	E2			3	おおむね20kV以上の高圧電流を送電するものをいう。		
							補助記号は自動発生して表示									
							補助記号は自動発生して表示									
							補助記号は自動発生して表示									
その他 小物体	レイヤ	送電線	一般	道路	河川		中心線を取得 (鉄橋間で区切らず連続データとする)						2	1. 送電線は、おおむね20kV以上の高圧電流を送電するものについて表示するのを原則とする。ただし、地中にある部分は正射影の方向に一致させて表示する。 2. 送電線の鉄塔は、高塔 (図式分類コード42-35) の記号を適用し、木柱及びコンクリート柱は表示しない。		
							補助記号は自動発生して表示									
							補助記号は自動発生して表示									
							補助記号は自動発生して表示									

水部等

大分類	分類コード	レイヤ	項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通 用	端点一致	備 考			
					500	1000	2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方 向					属性数値		
水 部 等	51		01	河 川	一般 道路 河川			界線を取得					3	<p>平水時における河川の水涯線をいう。河川の景況に影響を与えない小凹凸は適宜総合又は省略することができる。</p> <p>1. 水涯線は、河川、湖池等の水涯線及び海岸線の正射影を表示する。ただし、水部の景況に影響を与えない小凹凸は、適宜総合ししくは省略することができる。地下の部は表示しない。</p> <p>2. 河川は、平水時において流水部の幅が図上0.4mm以上のものを表示する。ただし、主要な河川等にあつては、流水部の幅が図上0.4mm未満であっても表示することができる。</p> <p>3. 湖池等とは、湖、池、沼等（人工的に貯水したものを含む。）をいい、図上おおむね2.0mm平方以上のものを表示する。湖池等は固有名で注記するのを原則とし、プール等狭小で注記することが困難な場合は、「W」の記号（図式分類コード51-05）を添えて表示する。</p> <p>4. 海岸線は、満潮時における海岸の水涯線の正射影を表示する。</p>	○					
																	水涯線 (河川) (海岸線) (湖池等)	一般		界線を取得
				細 流	一般 道路 河川			中心線を取得												
				一 条 河 川	一般															
				か れ 川	一般 道路 河川			範囲を示す線線を取得								3	<p>水の流れていない川をいい、断続する河川の流路を明示する場台に、景況に従い砂地及びれき地の記号で表示する。</p> <p>1. 流れ川とは、通常水の流れていない川をいい、断続している河川の流路を明示する場台に表示する。</p> <p>2. 流れ川は、砂れき地（図式分類コード63-40）の記号を適用する。</p>			
																				線

水部等

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通	用	端点一致	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード					
水部等	51	04	水路	一般 道路 河川				界線を取得		線	E2		3	流水部の幅が図上0.4mm以上の用水路を表示する。			
		05	湖池	一般 道路 河川	一般		界線を取得		線	E2			3	湖、池、沼等（人工的に貯水したものを含む）の水涯線をいい、河川の表示法に従って表示する。注記されないものには、「W」記号を添える。			
		06	海岸線	一般 道路 河川			界線を取得		線	E2				3	満潮時における海岸の水涯線をいい、河川の表示法に従って表示する。		
		07	水路 地下部	一般 道路 河川			地下水路線を取得		線	E2				3	河川、用水路等における地下の部分で、経路の明確なものについて表示する。		
		11	低位水涯線（干潟線）	一般 道路 河川			界線を取得		線	E2				3	低潮位において、海面上に表れる砂泥地における海水部との境をいう。		
											点	E5			3	図上海部として識別し難い場所においては記号を表示する。	

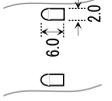
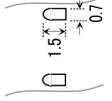
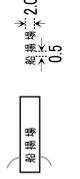
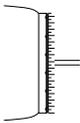
水部等

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	端点一致	備考
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				
水部に関する構造物	52	02	橋	橋(鉄、コンクリート)	一般 道路 河川	5000		海面を右に外周を取得	線	E2	有	4	船舶の乗降用に水部に突出した形状のもので、鉄製又はコンクリート製のものをいう。	○		
								補助記号は自動発生して表示	—	—	—	1. 栈橋は、その射影の幅が図上0.4mm以上で、長さが図上4.0mm以上のものを表示する。 2. 栈橋(鉄・コンクリート)は、その射影により被覆(小)(図式分類コード61-10)の記号を適用する。				
	03	橋	橋(木)	一般 道路 河川	5000		外周を取得	線	E2	—	—	4	栈橋のうち、木製のものをいう。			
							図郭に対して平行垂入力(浮) 挿入位置	—	—	—	栈橋は、その射影の幅が図上0.4mm以上で、長さが図上4.0mm以上のものを表示する。					
	04	52	04	橋	橋(浮き)	一般 道路 河川	5000		外周を取得	線	E2	—	4	栈橋のうち、水底に固定されていないものをいう。		
									直上 低い方を右に取得	点	E5	3				
	11	防波堤	11	防波堤	一般 道路 河川	5000		射影部(上端線) 低い方を右に取得	線	E2	有	4	波浪を制御する堤防、埠頭、海岸浸食を防ぐ突堤等をいう。	○		
								補助記号は自動発生して表示 射影部(下端線) 高い方を右に取得	—	—	—	11				
	—	—	—	—	—	一般 道路 河川	5000		被覆(図式分類コード61-10)参照 透過水制(図式分類コード62-32)参照	—	—	—	1	防波堤は、その埠頭、岸壁等により被覆(図式分類コード61-10)又は透過水制(図式分類コード62-32)の記号を適用する。ただし、その頂の幅が図上0.2mm未満の場合は0.2mmで表示する。		
										—	—	—	12			

水部等

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通	用	備考																																																	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ					レコード	方向	属性数値																																														
水部に 関する 構造物	52	レイヤ	12 護岸 被覆	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000		直上 低い方を右に取得	線	E2	有	4	浸食を防ぐために、水際を固めたものをいう。	○																																																
																	13 護岸 杭 (消波ブロック)	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000		外周を取得	線	E2	線	E7	有	4	波を弱めるために、水中から水上にかけて規則的に置かれた構造物の集合体をいう。																																	
																																	14 護岸 捨石	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000		外周を取得	線	E2	線	E7	有	4	水勢をそぐために、水中に投げ入れられた石をいう。																	
																																																	19 坑口 トンネル	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000		真形 坑口部分の外周を取得 (始終点盛標一致)	面	E1	面	E2	有	3	水路が地下に出入りする部分をいう。	

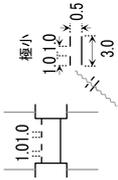
水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					備考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード		方向
水部に関する構造物	レイヤ	21	渡船発着所	一般 道路 河川	一般		表示位置の点と方向を取得 	方向	E6	有		3	1. 渡船発着所は、定期的に入又は車面を運搬する船舶の発着所及び遊覧船の発着所に適用し、著名なもの又は規模の大きなものは注記を添えて表示するの原則とする。 2. 発着地点に棧橋がある場合は、進行方向に記号の先端を向けて表示する。 3. 発着地点に棧橋がない場合は、河川においては記号の先端を上流に向けて表示し、湖池等においては記号が倒立しないように表示する。 4. 河川の幅が狭小な場合は、その中央に記号を表示する。
													
	レイヤ	22	船揚場	一般 道路 河川	一般			船揚場	注記	E7		3	1. ダムとは、洪水の調整、発電、上水道、農工業等のための各種用水の貯水を目的として設けられた工作物をいい、砂防ダムを含むものとする。 2. ダムは、その形態により被覆 (図式分類コード61-10) 及び人工斜面 (図式分類コード61-01) の記号を適用する。
													
	レイヤ	—	ダム	一般	一般								

水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通	用	端点一致	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード					
水部に関する構築物	52	滝	一般 道路 河川			真形 (上流部) 低い方を右に取得 	11	線	E2	有		4	地形的段差により流水が急激に落下する場所をいう。			
						真形 (下流部) 高い方を右に取得 	12	方向	E6	有						
水部に関する構築物	26		一般			真形 (上流部) 	11	線	E2			4	1. 滝とは、流水が急激に落下する場所をいい、高さがおおむね3.0m以上のものを表示する。 2. 滝は、上端は河川を横断して4号線で描き、射影部は下流側に直径0.3mmの小円形をりん形に描いて表示する。 3. 滝の幅が図上0.8mm未満のものは、極小の記号で表示する。			
						真形 (下流部) 	12	方向	E6	有						

水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通	用	備考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード					方向
水部に関する構造物	52	せき	一般 道路 河川			真形(水通し上流部) 中心線を取得	11					4				
						真形(水通し下流部) 中心線を取得	12	線	E2							
水部に関する構造物	27	き			真形(非越流部) 外面を取得	99						4				
					種小 中央位置の点情報と方向を取得			方向	E6	有						
水部に関する構造物	52	せき	一般			真形(上流部) 中心線を取得	11					4				
						真形(下流部) 中心線を取得	12	線	E2							
水部に関する構造物	52	せき	一般			種小 中央位置の点情報と方向を取得				方向	E6	有	4			1. せきとは、流水の制御や河床の保護を目的として設けられたり、取水等のため河川を横断して設けられたり、その主要なものを表す。 2. せきのうち、常時水面上にある部分は、その正射影を真線で表示し、常時溢流する部分は、破線を上流側に描いて表示する。

水部等

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	取得方法	データタイプ				線号	通用	端点一致	備考
					500	1000	2500			5000	図形区分	データ	レコード				
水部に 関する 構造物	52	—	28	水門	一般 道路 河川	—		<p>極小 中央位置の点と方向を取得</p> <p>真形</p> <p>極小 中央位置の点と方向を取得</p> <p>直に 低い方を右に取得</p>	線	E2	有	—	4	取排水、水量調節等のために設けられた工作物をいう。ドックは入口に水門記号を表示する。	—	—	
								<p>射影部(上端線) 低い方を右に取得</p> <p>補脚記号は自動発生して表示</p> <p>射影部(下端線) 高い方を右に取得</p>	線	E2	有	—	1. 水門とは、取排水、水量調節等のために設けられた工作物をいい、正射影を表示する。ただし、極小の記号に満たないものは、極小の記号で表示する。 2. ドックは次の例に準じて入口に水門記号を表示する。				
水部 等	31	—	—	不透水制	一般		<p>極小 中央位置の点と方向を取得</p> <p>直に 低い方を右に取得</p> <p>射影部(上端線) 低い方を右に取得</p> <p>補脚記号は自動発生して表示</p> <p>射影部(下端線) 高い方を右に取得</p>	線	E2	有	—	4	流水の制御又は河岸及び海岸の洗掘防止を目的として設けられた工作物をいう。その構造によって不透水制と透過水制に区分する。	—	○	—	
							<p>極小 中央位置の点と方向を取得</p> <p>射影部(上端線) 低い方を右に取得</p> <p>補脚記号は自動発生して表示</p> <p>射影部(下端線) 高い方を右に取得</p>	線	E2	有	—	1. 水制とは、流水の制御又は河岸及び海岸の洗掘防止を目的として設けられた工作物をいい、平水時に水面上に露出し、その長さが図上おおむね4.0mm以上のものについて、表示する。 2. 不透水制は、被覆(図式分類コード61-10)の記号を適用する。ただし、その頂部の幅が図上0.2mm未満のものは、0.2mmとして表示する。					

水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通	用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				
水部に関する構造物等	レイヤ	32	透過水制	一般 道路 河川	一般		<p>真形 外周を取得 (始終点座標一致)</p> <p>補助記号は自動発生して表示</p> <p>真形 外周を取得 (始終点座標一致)</p> <p>補助記号は自動発生して表示</p>	面	E1		4	透過水制は、流水の制御又は河岸及び海岸の洗掘防止を目的として設けられた工作物をいう。その構造によって不透透水制と透水制に区分する。		
	52	33	水制水面下	(河川)			<p>真形 外周を取得 (始終点座標一致)</p>	面	E1		3	水制の水面に隠れた部分について表示する。「製品仕様書」による。		
	35	根固	一般 道路 河川			<p>真形 外周を取得 (始終点座標一致)</p> <p>制水ブロック</p> <p>説明注記 線状に入力</p> <p>制水ブロック</p>	面	E1	注記	E7	4	護岸のための工作物で景況に従って表示する。		
	36	床固 陸部	一般 道路 河川			<p>真形 外周を取得 (始終点座標一致)</p> <p>床固</p> <p>説明注記 線状に入力</p> <p>床固</p>	面	E1	注記	E7	4	護岸のための工作物で景況に従って表示する。		
	37	床固 水面下	一般 道路 河川			<p>真形 外周を取得 (始終点座標一致)</p> <p>床固</p> <p>説明注記 線状に入力</p> <p>床固</p>	面	E1	注記	E7	3	護岸のための工作物で景況に従って表示する。		

水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード	
水部に 関する 構造物	レイヤ	38	一般 道路 河川	一般 道路 河川	0.5		真形 外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		4	
							説明注記 線状に投入	注記	E7		3	
	52	39	一般 道路 河川	一般	一般		外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		3	漁港等における敷石斜坂は、外周の正射影を表示する。
							表示位置の点と方向を取得	方向	E6	有	6	河川の流水方向が図上で容易に識別できない場合に表示する。 1. 流水方向は、河川の流水方向が図上で容易に識別できない場合に表示する。 2. 流水方向の記号は、川幅が広い場合は河川の中央部に、川幅が狭く記号が入らない場合は、河川の記号を間断して表示する。
	55	56	河川	河川	一般		記号 表示位置の点情報を取得	点	E5		3	河口又は河川の合流点から、100m又は200mごとに河岸に設置する標識をいう。
							記号 表示位置の点情報を取得	点	E5		3	河川の水位の観測に用いる標識をいう。

大分類	分類コード	名	地図情報レベル	図式	データタイプ				線号	適用	備考
					取得方法	図形区分	データ	レコード			
土地利用等	61	01 人工斜面	500 1000 2500 5000 一般 道路 河川		上端線 低い方を右に取得	11	線	有	3	<p>盛土部及び切土により人工的に作られた急斜面（溝路、鉄道等の盛土部及び切土部、造成地の急斜面等）をいう。頂部を築線で、傾斜部分は、長ケハと短ケハを交互に長ケハの正射影の長さの1/2間隔に表示する。長ケハの長さは傾斜の正射影幅、短ケハの長さはその1/2とし、長ケハの長さは最小1.0mm最大10.0mmとする。</p>	
					補助記号は自動発生して表示	12					<p>1. 人工斜面とは、盛土及び切土により人工的に作られた急斜面（溝路、鉄道等の盛土部及び切土部、造成地の急斜面等）をいう。原則として斜面の傾斜が2/3以上、高さが1.5m以上であって長さが図上1.0cm以上のものについて表示する。ただし、この基準を満たさないものであっても、地境の豊況を著す必要があると認められるものについては表示することができ、</p> <p>2. 土砂採取場等の変化する急斜面は、土がけ図式分類コード72-01)又は岩がけ(図式分類72-1)の記号を適用する。</p> <p>3. 正射影の幅が図上0.5mm未満のものは省略することができる。</p> <p>4. 人工斜面は、頂部を築線で表示し、傾斜部分は、長ケハと短ケハを交互に長ケハの正射影の長さの1/2間隔に表示する。長ケハの長さは傾斜の正射影幅、短ケハの長さはその1/2とし、長ケハの長さは最小1.0mm最大10.0mmとする。</p> <p>5. 斜面の頂部が道路線の場合は、道路線をもって頂部を兼ねさせる。</p>
					下端線 高い方を右に取得						
		02 土堤	500 1000 2500 5000 一般 道路 河川		上端線 低い方を右に取得	11	線	有	3	<p>被覆のない堤防及び敷地等の周囲にある盛土をいう。ケハの長さは最小1.0mm最大10.0mmとし表示する。</p>	
					補助記号は自動発生して表示	12					<p>1. 人工斜面とは、盛土及び切土により人工的に作られた急斜面（溝路、鉄道等の盛土部及び切土部、造成地の急斜面等）をいう。原則として斜面の傾斜が2/3以上、高さが1.5m以上であって長さが図上1.0cm以上のものについて表示する。ただし、この基準を満たさないものであっても、地境の豊況を著す必要があると認められるものについては表示することができ、</p> <p>2. 土砂採取場等の変化する急斜面は、土がけ図式分類コード72-01)又は岩がけ(図式分類72-1)の記号を適用する。</p> <p>3. 正射影の幅が図上0.5mm未満のものは省略することができる。</p> <p>4. 人工斜面は、頂部を築線で表示し、傾斜部分は、長ケハと短ケハを交互に長ケハの正射影の長さの1/2間隔に表示する。長ケハの長さは傾斜の正射影幅、短ケハの長さはその1/2とし、長ケハの長さは最小1.0mm最大10.0mmとする。</p> <p>5. 斜面の頂部が道路線の場合は、道路線をもって頂部を兼ねさせる。</p>
					下端線 高い方を右に取得						
03 表法層の法線	500 1000 2500 5000 一般 河川		法線を取得		線		3	<p>河川法第3条第2項の河川管理施設である堤防の表法層の法線をいう。</p>			

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	端点一致	備考													
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ					レコード	方向	属性数値										
土地 利用 等	61	10	被覆	被覆	一般	5000		直上 低い方を右に取得	11	線	E2	有	4	<p>1. 被覆とは、道路、河岸、海岸等の斜面を保護するためのコンクリート、石積等の堅ろうな工作物を用い、その高さが1.5m以上、長さが図上1.0cm以上のものを表示する。ただし、この基準に満たないものもあつても、周囲の景観により必要と認められるものについては表示することができる。</p> <p>2. 被覆は、上縁を4号線、他を2号線で描き、上縁の線には直径0.4mmの半円を2.0mm間隔に付す。また、その内部に直径0.3mmの半円を上縁より1.5mm間隔に表示する。この場合、円角は下縁から0.2cm以上表示するものとする。この表示は被覆(大)という。ただし、幅が図上0.6mm以上1.0mmまでのものは、円角を表示しない。</p> <p>3. 前項で、図上0.4mm未満のものは、被覆(小)の記号で表示する。</p>	○														
																	被覆	一般	5000		直上 低い方を右に取得	11	線	E2	有	3	<p>道路河岸、海岸等の斜面を保護するための堅ろうな工作物のうち、コンクリート製のものをいう。周縁を描き、上縁の線に半円を配し、その内部に円点を表示する。</p>	○	
																	被覆	一般 道路 河川	5000		直上 低い方を右に取得	11	線	E2	有	3	<p>斜面又は側面を保護するためのブロック製の被覆をいう。周縁を描き、上縁の線に四角を配し、その内部に円点を表示する。</p>	○	

大分類	分類コード	名	地図情報レベル	図式	データタイプ				線号	適用	備考		
					取得方法	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値
土地利用等	61	石積被覆	500 1000 2500 5000 一般 道路 河川		直上 低い方を右に取得 	11	線	E2	有	3	斜面又は側面を保護するための石積みの被覆をいう。 ○		
		21	21	法面保護(網)	500 1000 2500 5000 一般 道路 河川				面	E1		3	盛土又は切土部の法面を網で覆っているものをいう。
		22	22	法面保護(モルタル)	500 1000 2500 5000 一般 道路 河川				面	E1		3	モルタルで法面を覆っているものをいう。
		23	23	法面保護(コンクリート柵)	500 1000 2500 5000 一般 道路 河川				面	E1		3	コンクリート柵で法面を覆っているものをいう。

大分類	分類コード	名	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	用途	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード			
土地利用等	30	さく (未分類)	一般			中心を取得				3	建物及び敷地の周辺を区画するための生け垣、欵さく等の工造物をいう。	
		かき	一般			中心を取得 補助記号は自動発生して表示	E2	線		4	1. かきとは、建物及び敷地の周辺を区画するためのト ンベい、生かき、欵さく等の工造物をいい、高さ かおおむね1.5m以上、長さが図上おおむね1.0m以 上のもを表示する。*補助記号は自動発生して表示する 2. 前号において、建物が密集し表示することが困難な 場合には、省略することができる。	
	31	落下防止さく	一般			中心を取得 補助記号は自動発生して表示 ガードレール 道路を左に見て中心を取 得	E2	線		3	さくの構造、材質に関わらず落石を遮ることを目的に設 置されたものをいう。	
		防護さく	一般			両端の抜開部、補助記号は自動発生して 表示 ガードレール 中心を取得	E2	線	有	3	防護さくをいう。(ガードレール、ガードパイプ)	
	33	遮光さく	一般			中心を取得 補助記号は自動発生して表示	E2	線		3	光を遮ることを目的として設置されたさくをいう。	
		鉄さく	一般			中心を取得 補助記号は自動発生して表示	E2	線		3	金属製のさくをいう。	

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目名	名称	地図情報レベル			図式	取得方法	データタイプ				線号	適用	備考			
					500	1000	2500			5000	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値	
土地利用等	61	36	生垣	一般 道路 河川				中心を取得	線	E2			3	生垣、竹垣等をいう。					
			土囲	一般 道路 河川			中心を取得 補助記号は自動発生して表示	線	E2		3	盛土による構図をいう。							
			へい (未分類)	一般 道路 河川			内側を右にみて中心を取得 補助記号は自動発生して表示						建物及び敷地の周辺を区画するための囲壁をいう。						
			へい	一般			内側を右にみて中心を取得 補助記号は自動発生して表示	線	E2	有	4	1. へいとは、建物及び敷地の周辺を区画するためのついで及び石、コンクリート等で作られた堅ろうな工 作物をいい、高さがおおむね2.0m以上、長さが図上 おおむね4.0m以上のものを表示する。 2. へいのうち、高さがおおむね2.0m未満、長さが図上 おおむね4.0m未満のものはかき（図式分類コード 61-30）の記号により表示する。							
			堅ろうへい	一般 道路 河川			内側を右にみて中心を取得 補助記号は自動発生して表示						石、コンクリート、れんが、ブロック等により作られた 堅ろうな囲壁をいう。		6				
			簡易へい	一般 道路 河川			内側を右にみて中心を取得 補助記号は自動発生して表示									3	板、トタン等で作られた囲壁をいう。		

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ					線号	適用	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
土地利用等	レイヤ	01	区域界	一般 道路 河川	一般 道路 河川		境界を取得 _____	線	E2		3	区域界は、場地等のうち特に他の地区と区別する必要がある場合で、その区域が地物線で表示できない場合に適用する。	
				一般 道路 河川	一般					2			
	62	11	空地	一般 道路 河川	一般 道路 河川		記号表示位置を点情報で取得 (空) 挿入位置	点	E5		3	特に定められた記号のない場をいい、建物密集地の必要部分に表示する。	
				一般 道路 河川	一般		記号表示位置を点情報で取得 (駐) 挿入位置			3	車道の駐車のための場地で一般に利用可能なもの、月極駐車場等のおおむね図上2.0m平方以上のものをいう。立体駐車場は建物に記号を表示する。		
	12	駐車場	一般	一般		記号表示位置を点情報で取得 (P) 挿入位置	1. 駐車場は、一般車が利用可能なもの及び月極駐車場等で、おおむね図上4.0mm×4.0mm以上のものを表示する。 2. 駐車場は、その区域を地物線で表示できない場合は、区境界(図式分類コード62-01)の記号により外面を表示し、その内部に駐車場の記号を表示する。 3. 立体駐車場で大規模なものは、建物の内部に記号を表示する。また、タワー状で駐車場の記号が建物の記号の内部に入らない場合は指示点を付し記号を表示する。 4. 公共施設、工場及び店舗等の敷地内にある駐車場は表示しない。	点	E5			4	
						記号表示位置を点情報で取得 (花) 挿入位置			3	公園、広場等で鑑賞のために花を植えてある場所をいう。			
13	花壇	一般 道路 河川	一般		記号表示位置を点情報で取得 (花) 挿入位置	点	E5			3			

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考																													
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード	方向	属性数値																										
土地利用等	62		14	庭園	一般 道路 河川	一般		点	E5		3	庭園、公園、空地、道路の分離帯、工場等の周辺にある雑草あるいは隠ぺいのため栽培する灌木の集合しているところをいう。 庭園とは、庭園、公園、空地、道路の分離帯及び工場等の周辺にある雑草あるいは隠ぺいのため栽培する灌木の集合しているものをい、記号を意匠的に配置して表示する。ただし、庭園の記号で表示することが不適当な居住地域の周辺の樹木は、広葉樹林（図式分類コード63-31）、針葉樹林（図式分類コード63-32）等の記号を適宜適用する。																																
														15	墓地	一般 道路 河川	一般		点	E5		3	墓の集合しているところをいう。																					
																									—	—	—	—	—	—	—	—	—	1. 墓地は、その区域を地物線で表示できない場合は、植生界（図式分類コード63-01）の記号により外周を表示し、その内側に墓碑（図式分類コード42-01）の記号を表示する。 2. 図上おおむね3.0cm×3.0cm以上のものについては、墓碑（図式分類コード42-01）の記号を定間隔に配列して表示する。ただし、区域の形状によって定間隔に記号を表示することが困難な場合は、適宜記号の間隔をせばめて表示することができる。										
																																			16	材料置場	一般 道路 河川	一般		点	E5		3	木材、石材、鉱石等を集積するための土地又は水面で、おおむね図上2.0cm平方以上のものをいう。工場等の敷地内にある材料置場は表示しない。注記を併記する。 1. 材料置場とは、木材、石材、鉱石等を集積するための土地又は水面をい、おおむね図上2.0cm×2.0cm以上のものについて表示する。 2. 工場等の敷地内にある材料置場は表示しない。

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
土地利用等	レイヤ	21	噴火口・噴気口	一般 道路 河川	一般 道路 河川		点	E5			3	<p>現に噴火・噴気しているものをいう。</p> <p>1. 噴火口及び噴気口は、現に噴火・噴気しているものについて、当該位置に記号を表示する。</p> <p>2. 噴火又は噴気が広範囲にわたる場合は、主要なものを表示する。</p>		
														62
	レイヤ	22	温泉・鉱泉	一般 道路 河川	一般		点	E5			3	<p>温泉法に基づく温泉又は鉱泉の泉源をいう。注記を併記する。</p> <p>1. 温泉・鉱泉とは、温泉法に基づく温泉及び鉱泉をい、主要なものを表示する。</p> <p>2. 温泉及び鉱泉の記号は、泉源の位置に表示するのを原則とする。ただし、泉源と浴場が離れている場合には、浴場の位置にも表示することができる。</p>		
														62

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ					線号	用途	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
土地利用等	62	陵墓	一般 道路 河川			点	E5			3	天皇又は皇族の墓が独立あるいは数個存在するもので著名なものは注記を併記する。		
		古墳	一般 道路 河川			点	E5			3	古代の支配階級を葬ってある盛土された墓で有名なものは注記を併記する。		
		城・城跡	一般 道路 河川			点	E5			3	古城あるいはその形跡が現存しているもので著名なものは注記を併記する。		
		史跡・名勝・天然記念物	一般 道路 河川			点	E5			3	文化財保護法で指定されているものをいう。		
採石場	一般 道路 河川			点	E5			4	土木建築用等の石材を採取する場所、現在採掘中のものをいう。				
土取場	一般 道路 河川			点	E5			4	土木建築用等の土を採取する場所、現在採掘中のものをいう。				
採鉱地	一般 道路 河川			点	E5			4	鉱石を採掘する場所、現在採掘中のものをいう。				

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ					線号	適用	備考		
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				属性数値	
土地利用等	01	植生界	一般	道路河川		中心を取得						3	異なった植生の区分に適用する。未耕地間の植生界は原則として表示しない。		
			一般			中心を取得							2	1. 植生界は、異なった植生の区分に適用する。ただし未耕地間の植生界は原則として表示しない。 2. 植生界が区画界（図式分類コード62-01）と合する場合は、区画界を優先して表示する。	
			一般			中心を取得								3	1. 同一種類の耕地の境で、一区画の短辺が図上おおむね2.0cm以上のものをいう。 2. 同一種類の耕地の境をいい、一区画の短辺が図上おおむね2.0cm以上のものを表示するのを原則とする。ただし、この基準に満たないものでも図上必要と認められるものについては表示することができる。
	11	畑	一般	道路河川		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得							2	畑田、乾田及び沼田とし、季節により畑作物を栽培する田をいう。	
			一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得								2	畑は、水稻、蓮、い草、わさび、せり等を栽培している土地に適用し、季節により畑作物を栽培する土地を含む。
	12	はす田	(一般)	(道路)河川		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得							2	はすを栽培する土地をいう。「製品仕様書」による。	
			一般	道路河川		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得								2	麦、陸稲、野菜、芝等を栽培している土地をいう。
	13	畑	一般	道路河川		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得							2	畑は、麦、陸稲、野菜、芝、牧草等を栽培している土地に適用する。	
			一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得								2	畑は、麦、陸稲、野菜、芝、牧草等を栽培している土地に適用する。

土地利用等

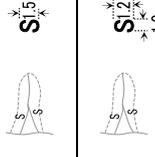
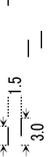
大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ					線号	適用	備考		
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				属性数値	
土地利用等	63	さとうきび畑	(一般) (道路) (河川)	500	1000 2500 5000					点	E5		2	さとうきびを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。	
						一般									さとうきび畑は、さとうきびを栽培している土地に適用する。
	63	パイナップル畑	(一般) (道路) (河川)	500	1000 2500 5000					点	E5		2	パイナップルを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。	
						一般									パイナップル畑は、パイナップルを栽培している土地に適用する。
	63	わさび畑	(一般) (道路) (河川)	500	1000 2500 5000					点	E5		2	わさびを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。	
						一般									桑畑は、桑を栽培している土地に適用する。
	63	桑畑	(一般) (道路) (河川)	500	1000 2500 5000					点	E5		2	桑畑は、桑を栽培している土地に適用する。	
						一般									茶畑は、茶を栽培している土地に適用する。
	63	茶畑	(一般) (道路) (河川)	500	1000 2500 5000					点	E5		2	茶畑は、茶を栽培している土地に適用する。	
						一般									

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	取得方法	データタイプ				線号	適用	備考
			500	1000 2500 5000			図形区分	データ	レコード	方向			
土地 植生 利用等	32	針葉樹林	一般 道路 河川	一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5		2	樹高2.0m以上の針葉樹が密生している土地をいう。		
						記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5		2	針葉樹林は、樹高2.0m以上の針葉樹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。		
	33	竹林	一般 道路 河川	一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5		2	樹高2.0m以上の竹が密生している土地をいう。		
						記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5		2	竹林は、樹高2.0m以上の竹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。		
	34	荒地	一般 道路 河川	一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5		2	裸地、雑草地等の地域に適用する。		
						記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5		2	はい松地は、はい松又ははい性松の密生している地域に適用する。		
	35	はい松地	一般 道路 河川	一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5		2	はい松地は、はい松又ははい性松の密生している地域に適用する。		
						記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5		2	はい松地は、はい松又ははい性松の密生している地域に適用する。		

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ					線号	適用	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
土地 利 用 等	レイヤ	36	しの地(笹地)	一般	20	記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点	E5			2	しの地は、しの又は笹の密生している地域に適用する。	
				道路 河川	1.5	記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得							
	63	やし科樹林	一般	2.5 0.7 1.0	記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点	E5			2	やし科樹林は、やし科、へこ科、たこのき科等の植物が密生している地域に適用する。		
			道路 河川	1.8	記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得								
	38	湿地	一般	2.5 1.5 0.9	記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点	E5			1. 湿地は、常時水を含み、土地が軟弱で湿水性の植物が生育している土地に適用する。 2. 湿地の範囲は、植生界(図式分類コード63-01)の記号を適用して表示する。			
			道路 河川	1.5 0.9	記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得								

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ					線号	適用	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
土地利用等	63	砂れき地 (未分類)	一般 道路 河川			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置 S	点	E5		2	1. 砂れき地は、砂又はれきで覆われている土地に適用する。 2. 砂れき地は、その範囲を植生界（図式分類コード63-01）の記号を適用して表示し、中央部に砂れき地の記号を表示する。		
													記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置 S
		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置 G	点	E5		2	れきで覆われている土地をいう。						
									記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置 —	点	E5		2

地形等

大分類	小分類	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	用途	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード			
地形等	01	等高線 (計曲線)	一般 道路 河川			等高線を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	線	E2	有	4	0mの主曲線及びこれより起算して5本目ごとの主曲線をいう。地図情報レベル1000以下は5mごと、2500では10mごと、5000では25mごとの等高線を表示する。	等高線を含む。
						12 0 1.0 (地図情報レベル500)	注記	E7				
						12 0 1.5 (地図情報レベル1000)	線	E2	有	4		
	02	等高線 (主曲線)	一般 道路 河川			等高線を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	線	E2	有	2	平均海面から起算して1mごとの等高線をいう。	等高線を含む。
						17 1.0 (地図情報レベル500)	注記	E7				
						17 1.5 (地図情報レベル1000)	線	E2	有	4		
	03	等高線 (補助曲線)	一般 道路 河川			等高線を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	線	E2	有	2	地図情報レベル2500では平均海面から起算して2mごと、5000では5mごとの等高線を表示する。	等高線を含む。
						15 1.0 (地図情報レベル500)	注記	E7				
						15 1.5 (地図情報レベル1000)	線	E2	有	4		

地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				番号	適用	備考		
			500	1000		2500	5000	取得方法	図形区分				データ	レコード
地形等	71	04 等高線 (特殊補助曲線)	一般 道路 河川			線	E2		有	2	主曲線の1/4の間隔の等高線で、補助曲線で適切な地形表現ができない部分について適用する。	○	等高線を含む。	
	05 凹地 (計曲線)	一般 道路 河川		線	E2	有		有	4	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、0mの主曲線及びこれより計算して8m目までの主曲線をいう。	○	等高線を含む。		
														注記
	06 凹地 (主曲線)	一般 道路 河川		一般		線	E2	有		有	2	1.凹地は、人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、凹地を示す等高線の長さが図上5.0mm以上のものを凹地(大)を、それ未満のものは凹地(小)を適用する。 2.凹地(大)は、等高線の外側に長さ0.5mmの短線をおおむね3.0mm間隔に付して表示する。ただし、凹地を示す等高線が長文な場合は、短線の間隔をおおむね10.0mmまで適宜広げることができる。	○	等高線を含む。
06 凹地 (主曲線)	一般 道路 河川		一般		線	E2	有		有	2	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、1mごとの等高線をいう。	○	等高線を含む。	

地形等

大分類	分コード	分レイヤ	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					番号	用途	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
地形等高線	07	凹地(補助曲線)	一般 道路 河川	1.0 0.5	10.0	0.5		線	E2	有	有	2	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、主曲線の1/2間隔の等高線をいう。	○	
								注記	E7			4			
	71	凹地(補助曲線)	一般	0.5	30-100	0.5		線	E2	有	有	2	凹地(計曲線)(図式分類コード71-05)の適用を参照。	○	等高線を含む。
								注記	E7			4			
	08	凹地(特殊補助曲線)	一般 道路 河川	1.0 0.5	5.0	0.5		線	E2	有	有	2	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、主曲線の1/4間隔の等高線をいう。	○	等高線を含む。
								注記	E7			4			
	99	凹地(矢印)	一般	2.0-4.0	0.5		線	E2	有	有	2	凹地(小)は、凹地を示す等高線と直行する長さ2.0mm~4.0mmの矢印を、高い方から最低部の方向に向けて表示する。	○		
							注記	E7			4				

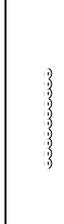
地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				番号	用途	備考	
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード				属性数値
地形等	72	01 土がけ(崩土)	一般 道路 河川	500 1000 2500 5000		<p>上端線 低い方を右に取得</p> <p>補助記号は自動発生して表示</p> <p>下端線 高い方を右に取得</p>	11	線	E2	有	2	土砂の崩壊等によって自然にできがけ状の急斜面をいう。頂部を示す線と射影部を示す短線を頂部から最大傾斜方向へ2.0mmまで表示し、それ以上の射影部は下端を破線で表示する。	○
						<p>図形に対して平行重入入力 (土) 挿入位置</p>	12	点	E5	4			
						<p>上端線 低い方を右に取得</p> <p>補助記号は自動発生して表示する</p> <p>下端線 高い方を右に取得</p> <p>図形に対して平行重入入力 (土) 挿入位置</p>	11	線	E2	有	2	1. 土がけとは、土砂の崩壊等によって自然にできた急斜面をいい、急斜面の正射影を表示する。 2. 土がけの番号は、頂部を破線で表示し、傾斜を示す短線は頂部を示す実線から最大傾斜方向に最大図上2.5mmを表示し、それ以上の場合は正射影の下端を破線で表示する。 3. 前項において、正射影の幅が図上1.0mm以上の場合には、適宜の位置に(土)の記号を添えて表示する。	○
地形等	02	雨水裂	一般 道路 河川	500 1000 2500 5000		<p>上端線</p> <p>補助記号は自動発生して表示</p> <p>下端線</p>	11	線	E2	有	2	表土が雨水によって流出した裂隙の状態をいい、土がけの記号で表示する。	○
						<p>図形に対して平行重入入力 (土) 挿入位置</p>	12	点	E5				
						<p>上端線</p> <p>補助記号は自動発生して表示</p> <p>下端線</p>	11	線	E2	有	2	雨水が雨水によって流出した裂隙の状態をいい、土がけの記号で表示する。	○
地形等	03	急斜面	一般 道路 河川	500 1000 2500 5000		<p>上端線 低い方を右に取得</p> <p>補助記号は自動発生して表示</p> <p>下端線 高い方を右に取得</p>	11	線	E2	有	2	雨水が雨水によって流出した状態をいい、土がけの記号で表示する。ただし、規模の大きなものは土がけ(図形分類コード72-01)の記号を適用する。	○
						<p>図形に対して平行重入入力 (土) 挿入位置</p>	12	点	E5				
						<p>上端線 低い方を右に取得</p> <p>補助記号は自動発生して表示</p> <p>下端線 高い方を右に取得</p>	11	線	E2	有	2	台地又は土等の周辺の傾斜が急で、等高線で表出するのが困難又は高さ不明にならない地形をいい、土がけの記号で表示する。	○

地形等

大分類	小分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				番号	用途	備考	
				500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
地形等	洞穴	06	洞 口	一般	道路 河川		<p>記号表示位置の点と向きを示す方向を取 得</p> <p> </p>	方向	E6	有	2	自然に形成された石匠洞、沖岩洞、トンネル等をいう。洞の向きに合わせて表示する。		
							<p>記号表示位置の点と向きを示す方向を取 得</p> <p> </p>	方向	E6	有	4	洞口とは、自然に形成された穴をいい、著名なものは、その入口に正射影の方向に一致させて記号を表示する。ただし、射影方向のものは、図部下型に記号を重畳させて表示する。		
		72	岩 が け	一般	道路 河川		<p>上層線 低い方を右に取得</p> <p> </p> <p>補助記号は自動発生して表示</p> <p>下層線 高い方を右に取得</p> <p> </p> <p>図部に対して平行重畳入力 (岩) 挿入位置</p>	線	E2	有	2	○	岩地ががけ林になっている状態をいう。頂部を山型に、傾斜を示す短線を頂部から最大傾斜方向に敷示する。	
							<p>上層線 低い方を右に取得</p> <p> </p> <p>補助記号は自動発生して表示する</p> <p>下層線 高い方を右に取得</p> <p> </p> <p>図部に対して平行重畳入力 (岩) 挿入位置</p>	線	E2	有	4	○		
					<p>上層線 低い方を右に取得</p> <p> </p> <p>補助記号は自動発生して表示する</p> <p>下層線 高い方を右に取得</p> <p> </p> <p>図部に対して平行重畳入力 (岩) 挿入位置</p>	線	E2	有	2	○	1. 岩がけとは、岩でできた急斜面をいい、急斜面の正射影を表示する。頂部を山型に表示し、傾斜を示す短線は頂部から最大傾斜方向に一致させて表示する。ただし、射影方向のものは、図部下型に記号を重畳させて表示する。 2. 岩がけとは、自然に形成された穴をいい、著名なものは、その入口に正射影の方向に一致させて記号を表示する。ただし、射影方向のものは、図部下型に記号を重畳させて表示する。 3. 傾斜において、正射影の幅が図上1.0cm以上の場合には、適宜の位置に(岩)の記号を添えて表示する。			
					<p>上層線 低い方を右に取得</p> <p> </p> <p>補助記号は自動発生して表示する</p> <p>下層線 高い方を右に取得</p> <p> </p> <p>図部に対して平行重畳入力 (岩) 挿入位置</p>	点	E5	有	2	○				
	露岩	12	露 岩	一般	道路 河川		<p>上層線 低い方を右に取得</p> <p> </p> <p>補助記号は自動発生して表示する</p> <p>下層線 高い方を右に取得</p> <p> </p> <p>図部に対して平行重畳入力 (岩) 挿入位置</p>	線	E2	有	2	○	一部を地表に露出する岩石をいい、河岸及び海岸等で露出してはいる岩石をきむ。	
							<p>上層線 低い方を右に取得</p> <p> </p> <p>補助記号は自動発生して表示する</p> <p>下層線 高い方を右に取得</p> <p> </p> <p>図部に対して平行重畳入力 (岩) 挿入位置</p>	線	E2	有	2	○	1. 露岩とは、一部を地表に露出する岩石をいい、河岸及び海岸等で露出してはいる岩石を含むものとする。 2. 露岩の表示は、その黒線を断面総描又は修飾し、記号を組み合わせて表示する。この場合総面上に表示する岩は、高い側の線を一部省略して表示する。	
		72	岩 が け	一般	道路 河川		<p>上層線 低い方を右に取得</p> <p> </p> <p>補助記号は自動発生して表示する</p> <p>下層線 高い方を右に取得</p> <p> </p> <p>図部に対して平行重畳入力 (岩) 挿入位置</p>	線	E2	有	2	○	一部を地表に露出する岩石をいい、河岸及び海岸等で露出してはいる岩石をきむ。	
							<p>上層線 低い方を右に取得</p> <p> </p> <p>補助記号は自動発生して表示する</p> <p>下層線 高い方を右に取得</p> <p> </p> <p>図部に対して平行重畳入力 (岩) 挿入位置</p>	線	E2	有	2	○		
					<p>上層線 低い方を右に取得</p> <p> </p> <p>補助記号は自動発生して表示する</p> <p>下層線 高い方を右に取得</p> <p> </p> <p>図部に対して平行重畳入力 (岩) 挿入位置</p>	点	E5	有	2	○				
					<p>上層線 低い方を右に取得</p> <p> </p> <p>補助記号は自動発生して表示する</p> <p>下層線 高い方を右に取得</p> <p> </p> <p>図部に対して平行重畳入力 (岩) 挿入位置</p>	点	E5	有	2	○				

地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	用途	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード			
地形等	72	13 散岩	一般 道路 河川		(大) 	線	E2	有		2	地表に散在する岩石をい、岩礁を含む。	
					(小) 	点	E5					
地形等	72	13 散岩	一般		(大) 	線	E2			2	1. 散岩とは、地表に散在する岩石をい、岩礁を含むものとする。 2. 散岩(大)の表示は、大きさが図上1.5mm×1.5mm以上のものに適用し、その景観を直線修飾し、舗装(図式分類コード72-12)の記号を組み合わせて表示する。 3. 散岩(小)の表示は、大きさが図上1.5mm×1.5mm以下のものに適用し、当該位置に記号を表示する。	
					(小) 	方向	E6					
地形等	14	さんご礁	一般 道路 河川	一般		線	E2	有		2	空中写真上で判読できる程度のものについてその外線を表示する。	
						線	E2					

地形等

大分県	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				番号	用途	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード			
地形等	01 三角点	一般 道路 河川	一般		基本点名又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	△	挿入位置	点	E5	有	基本測量により設置された三角点をいう。盤石の亡失した ものについては表示しない。	点名称も含む (但し、点名称は全 角文字、数値は半角文字)
					25.62	△	挿入位置	注記	E7	有		
					基本点名又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	△	挿入位置	点	E5	有		
					25.6	△	挿入位置	注記	E7	有		
					基本点名又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	△	挿入位置	点	E5	有		
					25.6	△	挿入位置	注記	E7	有		
	02 水準点	一般 道路 河川	一般		基本点名又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	□	挿入位置	点	E5	有	基本測量により設置された水準点をいう。標石の亡失した ものについては表示しない。	点名称も含む (但し、点名称は全 角文字、数値は半角文字)
					25.621	□	挿入位置	注記	E7	有		
					基本点名又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	□	挿入位置	点	E5	有		
					25.62	□	挿入位置	注記	E7	有		
					基本点名又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	□	挿入位置	点	E5	有		
					25.62	□	挿入位置	注記	E7	有		
03 多角点等	一般 道路 河川	一般		基本点名又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	○	挿入位置	点	E5	有	基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点 以外のものをいう。標石の亡失したもについては表示しな い。	点名称も含む (但し、点名称は全 角文字、数値は半角文字)	
				25.62	○	挿入位置	注記	E7	有			
				基本点名又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	○	挿入位置	点	E5	有			
				25.6	○	挿入位置	注記	E7	有			
				基本点名又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	○	挿入位置	点	E5	有			
				25.6	○	挿入位置	注記	E7	有			

地形等

大分類	分コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				番号	用途	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード			
地形等	73	08 電子基準点	一般 河川	25.62		点	E5	有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。	点名称も含む(但し、点名称は半角文字、数値は半角文字)	
						注記	E7					
						点	E5	有				
						注記	E7					
						点	E5	有				
						注記	E7					
	73	09 公共電子基準点	一般 河川	25.62		点	E5	有	4	公共測量により設置された公共電子基準点をいう。 標高数値は、公共電子基準点付属標の標高を表示する。	点名称も含む(但し、点名称は半角文字、数値は半角文字)	
						注記	E7					
						点	E5	有				
						注記	E7					
						点	E5	有				
						注記	E7					
11	標石を有しない標高点	一般	25.6		点	E5	有	4	公共測量による3級及び4級基準点(三角点及び水準点)、指定点測量(簡易水準測量を含む)により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点をいい、必要に応じて表示する。簡易水準点の標高は小数点以下2位、その他は小数点以下1位とする。	標石を有しない標高点とは、公共測量による3級及び4級基準点(三角点及び水準点)、指定点測量(簡易水準測量を含む)により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点をいい、必要に応じて表示する。		
					注記	E7						
					点	E5	有					
					注記	E7						
					点	E5	有					
					注記	E7						

地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				番号	用途	備考	
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード				属性数値
基礎地形	73	図化標測定による標高点	一般 道路 河川	一般	 標高値は属性数値 (単位: mm) 基本点記号又は指示表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm) ●——挿入位置	点	E5	有	4	図化標測定による標高点は必要に応じて表示する。			
						注記	E7						
	01	グリッドデータ			 25.6 グリッド間隔は、地図情報レベル相当の図面上で、2mを標準とする。	グリッド	G			数値地形モデル法によるグリッド上のデータで、グリッド点を記号で表示し、標高数値をm単位で小数点以下2位までと表示する。標高値が小数点以下2位又は3位までである場合は、必要に応じて表示する。			
	11	ランダムポイント			 標高値は属性数値 (単位: mm)	点	E5	有		数値地形モデル法によるグリッドデータを補完するための標高点であり、ランダム点を記号で表示し、標高数値をm単位で小数点以下2位までと表示する。標高値が小数点以下2位又は3位までである場合は、必要に応じて表示する。			
	21	ブレークライン			 地形線 (工事物等による地形の不連続部) の主な場所について、線状に標高測定を行う。	線	E2			数値地形モデル法におけるグリッドデータを補完するために取得するもので、形状を線状で表示する。			
数値地形モデル	75	不整三角網 (TIN)	一般 道路 河川	一般	 地表面の三角形 (TIN) 三点を取得	不整三角網	T			地表面のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレークライン、等高線等から生成する。			
						51			表面面の三角形 (TIN) 三点を取得			表面面のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレークライン、等高線等から生成する。	
						52			水表面の三角形 (TIN) 三点を取得			陸域のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレークライン、等高線等から生成する。	
-	81	指示点	一般 道路 河川	一般	 0.3	点	E5	4	建物記号、注記を表示する場合に、その対象物の内部に表示ができず対象とするものが特定できない場合に表示する。				

注記

大分類	分類コード		表示対象	字 大				字隔	データタイプ		注記法の区分				全角・半角	備 考 (記載例)	
	レイヤ	項目		分 類	500	1000	2500		5000	データ	レコード	小対象物	地域(I)	地域(II)			線状
注 記	22	55	交通施設	距離標(Km)	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		56		距離標(m)	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
	34	04	水部	ブール	2.0				1/4	注記	E7		○		全角		
	52	13	水部に関する構造物等	護岸杭(消波ブロック)	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
		14		護岸 捨石	2.0				1	注記	E7				○	全角	
		22		船揚場	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
		35		根固	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
		36		床固 陸部	2.0				1	注記	E7				○	全角	
		37		床固 水面下	2.0				1	注記	E7				○	全角	
		38		ジャカゴ	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
	71	01	等高線数値	等高線(計曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		02		等高線(主曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		03		等高線(補助曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		04		等高線(特殊補助曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		05		凹地(計曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		06		凹地(主曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		07		凹地(補助曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		08		凹地(特殊補助曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
	73	01	基準点等	三角点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	点名称を入れる場合は全角文字とする
		02		水準点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		03		多角点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		04		公共基準点(三角点)	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
05		公共基準点(水準点)		2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
06		公共基準点(多角点)		2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
07		その他基準点		2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
08		電子基準点		2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
09		公共電子基準点		2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
11		標石を有しない標高点		2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
12	図化標高点	2.0	1.5			1/4	注記	E7	○				半角				

注記

大分類	分類コード レイヤ	項目 データ	分	表示対象	字 大				字隔	データタイプ		注記法の区分				全角・半角	備 考 (記載例)
					500	1000	2500	5000		データ	レコード	小対象物	地域(I)	地域(II)	線状		
注記	81	行政 区画	10	市・東京都の区	6.0	5.0			1/2~7	注記	E7		○			全角	
			11	町・村・指定都市の区	5.0	4.5			1/2~7	注記	E7		○			全角	
			12	市町村の飛地	3.5	3.0			1/4~7	注記	E7	○	○	○		全角	
			13	大区域	4.5	4.0			1/4~5	注記	E7		○	○		全角	大字の上に公称としてあるもの
			14	大字・町・丁目	4.5	3.5			1/4~3	注記	E7		○	○		全角	町・丁目は大字に対応するもの
			15	小字・丁目	3.5	3.0			1/4~3	注記	E7		○	○	○	全角	丁目は小字に対応するもの
			16	通り	3.5	3.0			1/4~3	注記	E7		○	○	○	全角	
			17	その他の地名(大)	5.0	3.5			1/4~3	注記	E7		○	○		全角	通称及び俗称等に用いる
			18	その他の地名(中)	4.0	3.0			1/4~3	注記	E7		○	○	○	全角	
			19	その他の地名(小)	3.0				1/4~3	注記	E7		○	○	○	全角	
	交通 施設	21	道路の路線名	3.5	3.0			1/2~5	注記	E7				○	全角		
		22	道路施設、坂、峠、インターチェンジ等	3.0	2.5			1/4~1	注記	E7	○	○	○	○	全角		
		23	鉄道の路線名	3.5	3.0			1/2~5	注記	E7				○	全角		
		24	鉄道施設 駅、操車場、信号所	3.0	2.5			1/4~3	注記	E7	○	○	○	○	全角		
		25	橋	3.0	2.5			1/4~5	注記	E7	○			○	全角		
		26	トンネル	3.0	2.5			1/4~5	注記	E7	○			○	全角		
		建物	31	建物の名称	3.0	2.5			1/4~3	注記	E7	○	○	○		全角	
			34	建物の付属物	3.0	2.5			1/4	注記	E7	○				全角	
			40	マンホール	2.0				1/4	注記	E7	○				全角	
			41	電 柱	2.0				1/4	注記	E7	○				全角	
	水 部	42	その他の小物体	3.0	2.5			1/4	注記	E7	○				全角	輸送管は線状対象物の注記法	
		51	河川、内湾、港	4.0	3.0	3.5		1/4~5	注記	E7	○	○	○	○	全角		
			一条河川				2.5	1/4~5	注記	E7	○	○		○	全角		
			湖 池				3.0	1/4~5	注記	E7					全角		
			岬、崎、鼻、岩礁	3.0	2.5			1/4~5	注記	E7	○	○	○		全角		
							2.5	1/4~1									
			河岸、河原、洲、滝、浜、磯	3.5	3.0			1/4~5	注記	E7	○	○		○	全角		
		山、島	3.5	3.0			1/4~5	注記	E7	○	○	○		全角			
		52	水部施設、ダム	3.0	2.5			1/4~1	注記	E7	○	○	○	○	全角	羽村堰 岩淵水門	
			せき、水門、渡船発着所				2.5	1/4~1									
	堤防					2.5	1/4~5										
53	地下水部	4.0	3.0			1/4~5	注記	E7				○	全角				

注記

大分類	分類コード	分	表示対象	字大				字隔	データタイプ		注記法の区分				全角・半角	備考 (記載例)		
				レイヤ	項目	500	1000		2500	5000	データ	レコード	小対象物	地域(I)			地域(II)	線状
注記	81	土地 利用 等	61	法面、構囲	2.5	2.0			1/4~3	注記	E7	○	○	○		全角		
			62	諸地、場地 公園、牧場、飛行場 運動場、ゴルフ場等	3.5	2.5			1/4~5								全角	
				公園、運動場、牧場、飛行場、ゴルフ場、材料置場、温泉、採鉱地、採石地、城跡、史跡名勝、天然記念物等、太陽光発電設備			2.5		1/4~5	注記	E7	○	○	○	○		全角	
			63	植生		3.0	2.5			1/4~1	注記	E7	○	○	○		全角	森林、原野、果樹園
								2.5										
			71	山		3.5	3.0			1/4~5							全角	
								3.0			1/4~3	注記	E7	○	○	○		全角
				尖峰、丘、塚		3.0	2.5			1/4~5							全角	
								2.5			1/4~1	注記	E7	○	○	○		全角
			谷、沢		3.0	2.5			1/2~3						○		全角	
				2.5				注記	E7	○	○		○	全角				
81		説明注記 (本文中に規定されているものを除く)	2.5		2.0			1/4~2	注記	E7	○	○	○	○	全角	(建設中) (宅地造成中) (油) (整理中)		
		助字		親字の60%														
		ふり仮名		1.5														

注1 字隔は、対象物の大小、字数の多少及び視覚等を考慮して表の範囲で選択する。ただし、小対象物の注記法による場合の字隔は、すべて1/4とする。

注2 対象物の面積及び長さにより規定の字大の適用が困難な場合、又は不適切な場合は、字大を0.5mm小さくすることができる。

注3 本表に記載されていないものは、表中の類似物の注記規定による。

注4 各字大における文字の線の太さは、次の線号を標準とする。

字大	2.0mm	2.5~3.0mm	3.5~4.0mm	4.5~5.0mm
線の太さ	0.15mm	0.20mm	0.25mm	0.35mm

三角点、水準点、多角点、現地測定による標高点及び図化機により測定した標高点、等高線数値の線の太さは、0.20mmとする。

(3)公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表 応用測量

線形図

大分類	分類コード	名 称	図 式	データタイプ				線 号	備 考		
				取得方法	図形区分	データ	レコード			方 向	属性数値
交 通 施 設	25	01	IP (IP杭)		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	中心線測量のIP点をいう。	
		02	IP方向線		IP点間の方向線を取得 挿入位置	線	E2		3	IP点間に引いた方向線をいう。	
		03	主要点 (役杭)		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	中心線測量のBC, EC等の主要点をいう。	
		04	中心点 (中心杭)		中心点の要素を取得 (属性区分81, 属性データの書式A55) 挿入位置	属性	E8	有	3	中心点の要素をいう。路線属性区分 (必須)・路線番号 (選択)・測点名 (必須)・単距離 (必須)・追加距離 (必須) で構成され、属性は省略可能である。書式は、"A2, I5, 4X, A24, I8, I12" とする。単距離は、前測点からの距離をmm単位で記述する。追加距離は、路線の開始点からの追加距離をmm単位で記述する。	
		05	中心線		直線 中心点の要素を取得 (属性区分81, 属性データの書式A55) 挿入位置	点	E5		3	中心線測量のBC, EC等の主要点をいう。	
				円弧区間を始点から終点方向に取得 挿入位置	属性	E8	有	3	中心点の要素をいう。路線属性区分 (必須)・路線番号 (選択)・測点名 (必須)・単距離 (必須)・追加距離 (必須) で構成され、属性は省略可能である。書式は、"A2, I5, 4X, A24, I8, I12" とする。単距離は、前測点からの距離をmm単位で記述する。追加距離は、路線の開始点からの追加距離をmm単位で記述する。		
				円弧区間を始点から終点方向に取得 挿入位置	線	E2	有	3	中心線の直線区間をいう。		
				円弧区間を始点から終点方向に取得 挿入位置	円弧	E4	有	3	中心線の円弧区間をいう。		
				クロソイド区間を始点から終点方向に取得 挿入位置	線	E2	有	3	中心線のクロソイド区間をいう。	形状に沿って連続した座標列で出力する。	
				其他の緩和区間を始点から終点方向に取得 挿入位置	線	E2	有	3	中心線の其他の緩和区間をいう。		

線形図

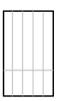
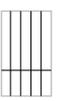
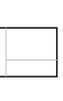
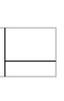
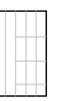
大分類	分類コード	名 称	図 式	デ ー タ タ イ プ				線 号	備 考		
				取得方法	図形区分	データ	レコード			属性数値	
交通施設	25	線形図	属性	中心線の要素を取得 (属性区分82、属性データの書式A84)	有				中心線の要素をいう。路線属性区分 (必須) ・ 路線番号 (選択) ・ I P 番号 (選択) ・ 開始測点名 (選択) ・ 終了点名 (選択) ・ 緩和曲線開始距離 (必須) ・ 終了点名 (選択) ・ 緩和曲線終了距離 (必須) ・ 半径又はパラメータ (必須) (必須) で構成され、属性は省略可能である。 書式は、A2、15、14、A24、18、A24、18、18、11"とする。 開始測点名は、路線中心線の各スパンにおける始点測点名を記述する。 緩和曲線開始距離は、中心線の形状がクロノイドの場合、クロノイドの基準になる位置 (直線測端点) から路線の進行方向上の始点測点名位置までの距離をmm単位で記述する (直線部は0)。開始側クロノイドは開始距離より終了距離の方が大きくなり、終了側クロノイドはその逆となる。 終了点測点名は、路線中心線の各スパンにおける終了点測点名を記述する。 緩和曲線終了距離は、中心線の形状がクロノイドの場合、クロノイドの基準になる位置 (直線測端点) から路線の進行方向上の終点測点名位置までの距離をmm単位で記述する (直線部は0)。 半径又はパラメータは、中心線の形状が円弧、またはクロノイドの場合、またはパラメータをmm単位で記述する。 線形の形状で、直線なら0、路線の進行方向に向かって右カーブなら1、左カーブなら2を記述する。		
				05	中心線以外の線を取得		線		3	中心線以外の路線結線をいう。	
				06	その他の路線結線		中心線の進行方向に対して役柄より直角に取得	線		3	役柄において中心線に要素を表示するために引かれた線をいう。
				07	役柄引出線		記号表示位置の点を取得	点		3	
				11	多角点 (記号)		多角点と中心線間を取得	線		3	
				12	引照 (線)			線		3	

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ					線号	適用	備考	
				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				属性数値
土地 利用 等	65	01 中心杭		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5			4	中心線の測点（役杭を含む）をいう。		
		02 用地杭		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5			4	用地杭（幅杭点を含む）をいう。		
		11 起業地の境界		用地境界線を取得	線	E2				3	用地取得境界線（幅杭線を含む）をいう。	
		12 用地取得予定線		用地境界線を取得	線	E2				3	用地取得境界線をいう。	公図等転写図に使用する。
		13 大字の境界		大字の境界線を取得	線	E2				7	大字の境界線をいう。	大字名の注記は、8114 を使用する。
		14 字の境界		字の境界線を取得	線	E2				7	字の境界線をいう。	字名の注記は、8115 を使用する。
		15 土地の境界		土地の境界線を取得	線	E2				3	土地の境界線をいう。	
		16 一筆地内の異なる地目の境界		地番内で地目が異なる境界を取得	線	E2				2	地番内で地目が異なる境界線をいう。	
		17 一筆地内の異なる権利の境界		地番内で権利の異なる境界を取得	線	E2				2	地番内で権利の異なる境界線をいう。	
		18 一筆地内の異なる占有者の境界		地番内で占有者の境界を取得	線	E2				3	地番内で占有者がある場合の境界線をいう。	

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ					線号	適用	備考	
				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				属性数値
土地 利用 等	19	同一所有者記号		隣り合った土地の所有者が同じ場合に共有する線上に円弧を取得	円弧	E4			2	隣り合った土地の所有者が同じで片方の所有者名を省略する場合に記号を入れる。		
				記号表示位置の点を取得	71	点	E5			3	境界点に石杭が埋設してあるものをいう。	
	21	境界標	コンクリート杭		記号表示位置の点を取得	72	点	E5		3	境界点にコンクリート杭が埋設してあるものをいう。	
			合成樹脂杭		記号表示位置の点を取得	73	点	E5		3	境界点に合成樹脂杭が埋設してあるものをいう。	
			不銹鋼杭		記号表示位置の点を取得	74	点	E5		3	境界点に不銹鋼杭が埋設してあるものをいう。	
			その他		記号表示位置の点を取得	75	点	E5		3	境界点に鉄等が打設してあるものをいう。	
			境界計算点		記号表示位置の点を取得	76	点	E5		3	延長上の交点等で求めた点をいう。	
	22	公共施設の境界線 (道路区域界)		道路の区域線を取得	線	E2			3	道路の区域界とは、道路法第2条第1項に規定された道路にあっては道路法施行規則第4条の2第4項第1号の道路の区域の境界線、道路法第2条第1項に規定する以外の道路にあってはこれに準ずる境界線をいう。		
				河川の区域線を取得	線	E2			3	河川の区域界とは、河川法第6条第1項の河川区域又は同法第100条第1項の規定により指定された河川について準用される同法第6条第1項の区域及びその他の公共の用に供する水路である河川の境界線をいう。		

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ					線号	用途	備考
				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
土地利用等	65	41		<p>拡大して詳細を表示する外周を取得（始 終点座標一致）</p>	面 線 円	E1 E2 E3		3	部分的に拡大詳細図を作成する場合の範囲をいう。	連続又は終点一致	
		42		<p>引き出し線を取得</p>	線	E2		3	寸法等で表示場所が制約される場合に別な場所に引き出す線をいう。		
		51		<p>電柱の中心位置と架線の方向を取得</p>	方向	E6	有	3	電力柱をいう。		
		52		<p>外枠は支持物の敷地を取得し、内枠は支持物の基礎を取得（始終点座標一致）</p>	面 線	E1 E2		3	送電線の鉄塔をいう。		
		53		<p>電柱の中心位置と架線の方向を取得</p>	方向	E6	有	3	電話柱をいう。		
		54		<p>電柱の中心位置と架線の方向を取得</p>	方向	E6	有	3	鉄道の電柱をいう。		
		55		<p>電柱の中心位置と架線の方向を取得</p>	方向	E6	有	3	その他の電柱をいう。		

整飾

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ					線号	適用	備考
				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
地形整飾	レイヤ項目	01		図枠外側の線を取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2		3	図枠の外側に引かれた線という。	○	
		02		図枠内側の線を取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2		6	図枠の内側に引かれた線という。	○	
	03		タイトルの外枠線を取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2		4	図面の右下に書かれたタイトルの外枠線という。	○		
	04		タイトル内の罫線を取得	線	E2		3	図面の右下に書かれたタイトル内の罫線という。			
	05		凡例の外枠線を取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2		4	図面内の要素を示す凡例の外枠線という。	○		
	06		凡例内の罫線を取得	線	E2		3	図面内の要素を示す凡例内の罫線という。			
	07		作表の外枠線を取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2		4	作表の外枠線という。	○		
	08		作表内の罫線を取得	線	E2		3	作表内の罫線という。			
	11		方眼線	座標の方眼線を取得	線	E2		3	図面内に表示された基準座標を示す方眼線という。		
	12		方眼点	記号表示位置の点と方向を取得	線	E1		3	図面内に表示された基準座標を示す方眼点という。		

整飾

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ					線号	適用	備考
				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
地形等	13	方位		方位の図柄線を取得		線	E2 E3		3	平面図等の座標の北を示す方位をいい、図柄データで表示する。	
				方位の図柄線を取得		線			3	方眼紙をあらわす線をいう。	
	14	方眼紙 (5cm)		方眼紙の5cm間隔の線を取得		線			2	方眼紙をあらわす線をいう。	
				方眼紙の1cm間隔の線を取得		線			1	方眼紙をあらわす線をいう。	
	15	方眼紙 (1cm)		方眼紙の1cm間隔の線を取得		線					
	16	方眼紙 (1mm)		方眼紙の1mm間隔の線を取得		線					

注記

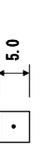
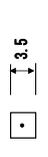
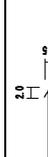
大分類	分類コード		分	表示対象	字 大		字 隔	データタイプ		注記法の区分				全角・半角	備 考 (記載例)
	レイヤ	項目			データ	500		1000	データ	レコード	小対象物	地域(I)	地域(II)		
注記	82	01	整飾	図面タイトル	7.0	1/4~3	注記	E7	○				全角・半角		
		02		図面縮尺	5.0	1/4~3	注記	E7	○				全角・半角		
		03		地区名	5.0	1/4~3	注記	E7	○				全角・半角		
		04		計画機関名	5.0	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角		
		05		作業機関名	5.0	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角		
		06		作成年月日	5.0	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角		
		07		タイトル(文字)	4.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角		
		08		凡例(文字)	4.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角		
		09		作表(文字)	2.5	1/4	注記	E7	○				全角・半角		
		11		方眼座標値	2.0	1/4	注記	E7	○				半角		
		12		方位	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角		
		25		01	線形図	IP(IP杭)	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角
	03		主要点(役杭)	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角		
	04		中心点(中心杭)	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角		
	07		役杭引出要素	2.0		1/4	注記	E7	○				半角		
	11		杭打図	多角点名称	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角		
	12			引照	2.0	1/4	注記	E7	○				半角		
	65	01	用地	中心杭番号	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角		
		02		用地杭名称	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角		
		21		境界点名称	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角		
	82	61	用地	点間の距離	2.0	1/4	注記	E7	○				半角		
		62		地番	2.5	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角		
		63		地目	2.5	1/4~1	注記	E7	○				全角		
		64		所有者等の氏名	2.5	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角		
		65		不動産番号	2.5	1/4~1	注記	E7	○				半角		
66		座標系		2.5	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角			

(4) 公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表 測量記録

基準点網図

大分類	分類コード	項目名	名称	図式	データタイプ				線号	用途	備考
					取得方法	図形区分	データ	方向			
地形巻	76	01	与点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	基準点測量を行う場合に使用する与点という。	
		02	新点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	新しく設置する新点(基準点)という。	
		03	節点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	点間に視通が無い場合に定められた範囲内で設ける点という。	
		04	偏心点・方位点		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	与点等で点間の視通が無い場合に設ける偏心点をいう。	
		05	点間結線		点間の線を取得	線	E2		3	点間の視通を表す結線という。	
		06	与点後視方向線		与点での方向線と与点から方向点方向に取得	線	E2	有	3	与点で後視方向のみ取り付ける場合の方向線という。	
		07	観測方向(矢印)		観測方向を観測の方向を点間結線上に点の位置と方向を取得	方向	E6	有	3	点間結線上に観測方向を表現した記号という。	
		08	観測方向(線)		観測方向を始点から終点に向かって取得 内角の場合は時計回りに取得	線 円弧	E2 E4	有	3	観測路線方向を表現した方向線という。	
		09	セッション		セッションを取得(始終点基準一致)	面線	E1 E2		3	GNSSで観測する場合のセッションという。	○
		11	与点記号(電子基準点)		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	基準点測量を行う場合に使用する与点(電子基準点)という。	
		15	点間結線(偏心と点間)		点間の線を取得	線	E2		3	偏心と点間の視通を表す結線という。	

水準路線図

大分類	分類コード	項目名	名称	図式	データタイプ				線号	用途	備考
					取得方法	図形区分	データ	レコード			
地形等	77	水準路線図	与点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置 	点	E5		3	水準測量を行う場合に使用する与点という。	
			新点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置 	点	E5		3	新しく設置する新点（水準点・BM・交点）をいう。	
			固定点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置 	点	E5		3	観測路線中にある固定点をいう。	
			水準路線		水準路線を取得	線	E2		3	水準路線をいい、路線単位で取得する。	
			観測路線方向線		観測路線の方向を始点から終点方向に取得 挿入位置 	線	E2		3	水準路線の観測方向を表現した方向線という。	

空中写真資料

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ				番号	用途	備考
				取得方法	図形区分	データ	レコード			
空中写真資料	78	01 標定点		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3		標定点配置図
		02 対空標識		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3		対空標識一覧図
		04 主点		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3		空中三角測量実施一覧図
		05 タイポイント		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3		空中三角測量実施一覧図
		06 連結		標高点から撮影コースへの連結を取得 _____	線	E2		3		空中三角測量実施一覧図
		11 撮影コース		撮影コースを取得 _____	線	E2		3		空中写真標定図
		12 撮影主点		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3		空中写真標定図
		13 写真枠		写真の枠を取得 (標高点座標一致) _____	面	E1		3		○ 空中写真標定図
		14 撮影区域		撮影区域を取得 _____	線	E2		3		空中写真標定図
		21 作成範囲		作業範囲を取得 _____	面	E1		4		
		空中写真資料								

注記

大分類	分類コード		分	表示対象	字 大		字隔	データタイプ		注記法の区分				全角・半角	備 考 (記載例)
	レイヤ	項目			データ	500		1000	デ	レ	小対象物	地域(I)	地域(II)		
注記	82	21	基準点網図	測点名称	2.5		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		22		電算番号	2.5		1/4	注記	E7	○				半角	
		23		セッション名	2.5		1/4	注記	E7	○				半角	
	82	31	水準	測点名称	2.5		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		32		観測路線番号	2.5		1/4	注記	E7	○				半角	
	78	01	空中写真資料	標定点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		02		対空標識名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		04		主点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		05		タイポイント名称	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		11		コース番号	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
	82	41		写真番号	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		42		使用カメラ	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		43		画面距離	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		44		撮影高度	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	